

令和3年度 当初予算編成について

～ 主要な取り組みの概要～

令和3年2月

新潟市 

目 次

予 算 案 の 概 要

令和3年度予算編成にあたって	1 頁
1 令和3年度当初予算の姿	5 頁
2 一般会計予算の概要	8 頁
3 持続可能な行財政運営に向けた改革 集中改革プランについて	10 頁
4 令和3年度における重要課題への取り組み	15 頁
「感染拡大防止対策」と「経済社会活動の再興」	17 頁
選ばれる都市 新潟市 ～ ウイズコロナ・ポストコロナ時代のまちづくり～	19 頁
「にいがた未来ビジョン」各都市像の取り組み	23 頁
第2期 新潟市まち・ひと・しごと創生総合戦略 ～将来にわたって活力ある 住みよいまち 暮らしたいまち 新潟を目指して～	35 頁
5 区予算の概要	41 頁
6 新規開設施設一覧	54 頁

資 料 編

1 令和3年度会計別予算	56 頁
2 令和3年度一般会計歳入・歳出予算内訳	57 頁
3 目的税および地方消費税交付金の使途	62 頁
4 市民一人当たりの予算の内訳など	65 頁
5 歳出の詳細について	66 頁
6 他都市との財政状況の比較 (令和元年度普通会計決算)	68 頁

※精査の結果、数値が変更となる場合があります。

令和3年度予算編成にあたって ～ 明るい未来を切り拓き、選ばれる新潟市を実現 ～

全国的な新型コロナウイルス感染症の拡大は、大都市圏への人口集中によるリスクを顕在化させ、多くの方が働き方や暮らし方を見つめ直す契機となりました。

令和3年度は、急激な社会の変化を的確に捉えつつ、本市がもつ強みを活かし将来に向かって明るい未来を切り拓くため、市民の安心安全な暮らしの実現を図りながら、次世代のための新しいまちづくりを前進させていく年となります。

感染防止対策をしっかりと行いながら、大きな影響を受けた経済社会を再興し、人口減少社会への対応や拠点性の向上、経済・産業の活性化といった重要課題への取り組みと、集中改革の推進による持続可能な行財政運営を両立しつつ、新たに策定した「第2期新潟市まち・ひと・しごと創生総合戦略」と「にいがた未来ビジョン」の3つの都市像に掲げた取り組みを一体となって推進することで、未来に向かって活力ある新潟市を実現します。

希望する方が結婚できるよう、結婚に伴う新生活への支援を拡大するほか、地域で結婚を応援する取り組みを進めるなど、出会いから結婚までを切れ目なくサポートします。

安心して子どもを産み育てられるよう、こども医療費の通院助成の対象を高校生までに拡大し子育て世帯の負担軽減を図るほか、男性の家事・育児への参画を促すとともに、子育てと仕事を両立できる働きやすい職場環境の整備を促進するなど、地域や社会全体で子育てをするための機運醸成を図ります。

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、認知症の方や家族への支援体制を充実するなど、地域包括ケアシステムをさらに深化し、『安心協働都市』を実現します。

新潟の玄関口である新潟駅のリニューアルや在来線の高架化が進み、新しい駅をシンボルとして県都新潟の都心エリアが大きく変わろうとしています。

民間と連携しながらまちの賑わい創出を図り、駅周辺整備や都市再生緊急整備地域の指定に向けた取り組みを着実に進めるなど、新潟駅、万代、古町をつなぐ「にいがた 2km」を人・モノ・情報が行き交う都心エリアとし、そこで生まれた活力を市全体の活性化につなげ、本市の拠点性をさらに高めることで、『環境健康都市』を実現します。

中小企業の経営力強化に向け、デジタル化など生産性向上に向けた取り組みを支援するとともに、食や農といった本市の強みを活かし、企業の新事業の展開やスタートアップ企業との協業を促進するほか、新たな工業用地への企業誘致を強化するなど、多様で魅力ある雇用の場の創出を図ります。

「儲かる農業」の実現に向け、先端技術によるスマート農業の普及と合わせ、複合営農を推進し園芸作物の産地拡大を図るとともに、販路拡大に取り組みます。

社会の変化を捉えつつ感染症対策を行いながら、マイクロツーリズムの推進や、オンラインの活用などによる「新しい観光スタイル」を構築・推進することにより、本市の魅力と拠点性を活かした取り組みを展開し、『創造交流都市』を実現します。

これら3つの都市像に総合戦略を重ね合わせて推進し、人口減少を和らげ、人口減少社会に適したまちづくりを進めるとともに、ウイズコロナからポストコロナ社会を見据え、都市と田園が調和する本市の魅力を活かしたまちづくりを進めることで「選ばれる新潟市」を実現します。



市民と地域が学び高め合う、安心協働都市

- ずっと安心して暮らせるまち
- 男女共同参画の推進・子どもを安心して産み育てられるまち
- 学・社・民の融合による教育を推進するまち
- 地域力・市民力が伸びるまち

安心して子どもを産み育てられるよう、こども医療費の通院助成の対象を高校生までに拡大し子育て世帯の負担軽減を図るとともに、産前産後での負担が特に大きい多胎妊産婦を支援するため、妊婦健診の充実や育児サポーターの派遣を行うなど育児負担の軽減を図ります。また、保育施設の整備を支援するほか、病児・病後児保育において保育園等で体調不良となった児童の緊急的な送迎対応を新たに開始するなど、多様な保育ニーズへの対応を進めます。

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域包括支援センターを増設し機能強化を図るほか、新たに認知症地域支援コーディネーターを配置し、認知症の方や家族への支援体制を充実するなど、地域包括ケアシステムをさらに深化します。

安心な暮らしを確保するため、自殺対策を進め、これまでの電話相談に加えメールやチャットを活用し、悩みを早期に相談できる体制を構築します。

学校が地域と一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校」づくりを進めるため、コミュニティ・スクールを推進するほか、GIGAスクール構想の実現に向け、授業におけるICT支援員を新たに配置するなど、創造性を育む教育環境を充実します。



田園と都市が織りなす、環境健康都市

- 地域資源を活かすまち
- 人と環境にやさしいにぎわうまち
- 誰もがそれぞれにふさわしい働き方ができるまち

新潟の玄関口である新潟駅のリニューアルや在来線の高架化が進み、新しい駅をシンボルとした県都新潟の都心エリアが大きく変わろうとしています。「新潟都心の都市デザイン」の実現に向け、新潟駅、万代、古町をつなぐ「にいがた2km」を人・モノ・情報が行き交う都心エリアとし、そこで生まれた活力を市全体の活性化につなげていくため、新潟駅周辺整備を着実に進めるほか、都市再生緊急整備地域の指定を見据え、特例を活用した開発に向けたガイドラインを作成します。

古町の歴史や文化、食、街並みといった地域資源を活かしたコンテンツの創出を支援するほか、地元商店街が関わるまちづくり会社などと連携して取り組む空き店舗対策支援制度を創設するとともに、チャレンジショップを拡大するなど、まちの活性化を図り、賑わいを創出します。

2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」に向けた取り組みを推進するため、脱炭素経営を目指す中小企業等を支援し、再エネ100%転換に向けた普及啓発を図るほか、食品ロスやプラスチックごみの削減に向けた取り組みを進めることで、脱炭素・資源循環型社会の実現を目指します。



日本海拠点の活力を世界とつなぐ、創造交流都市

- 役割を果たし成長する拠点
- 雇用が生まれ活力があふれる拠点
- 魅力を活かした交流拠点
- 世界とつながる拠点

食や農といった本市の強みを活かし、フードテック・アグリテック（食・農×テクノロジー）をキーワードに、市内企業の新事業の展開やスタートアップ企業との協業を促進するとともに、5Gによるデジタル化や、デジタル技術の利活用により、異業種がつながり、企業や人、技術などをつなぐプラットフォームを構築することで、企業の付加価値や生産性の向上を目指します。また、コロナ禍においても、新たな工業用地への企業の進出が停滞しないよう、製造・物流業への支援を拡大するほか、IT企業の誘致を強化するなど、多様で魅力ある雇用の場を創出します。

「儲かる農業」の実現に向け、先端技術によるスマート農業の普及とあわせ、輸出用米の生産拡大など需要に応じた米づくりを進めるとともに、園芸作物の導入による複合営農を推進し、販路拡大に取り組むことで産地の拡大を目指します。

社会の変化を捉えつつ感染症対策を行いながら、マイクロツーリズムや、オンラインとリアルによるハイブリッド型観光などの推進により「新しい観光スタイル」の構築を進め、観光マインドの向上や消費活性化を図ることで、本市の魅力と拠点性を活かした取り組みを展開します。

人口減少社会への対応

本市では、少子・超高齢社会の進展と若い世代の東京圏への流出により、人口減少が続いています。

人口減少を和らげ、人口減少社会に対応した持続可能なまちづくりを進めるため、官民の力を合わせ、新たに策定した「第2期新潟市まち・ひと・しごと創生総合戦略」と「にいがた未来ビジョン」の3つの都市像に掲げた取り組みを重ね合わせて推進します。

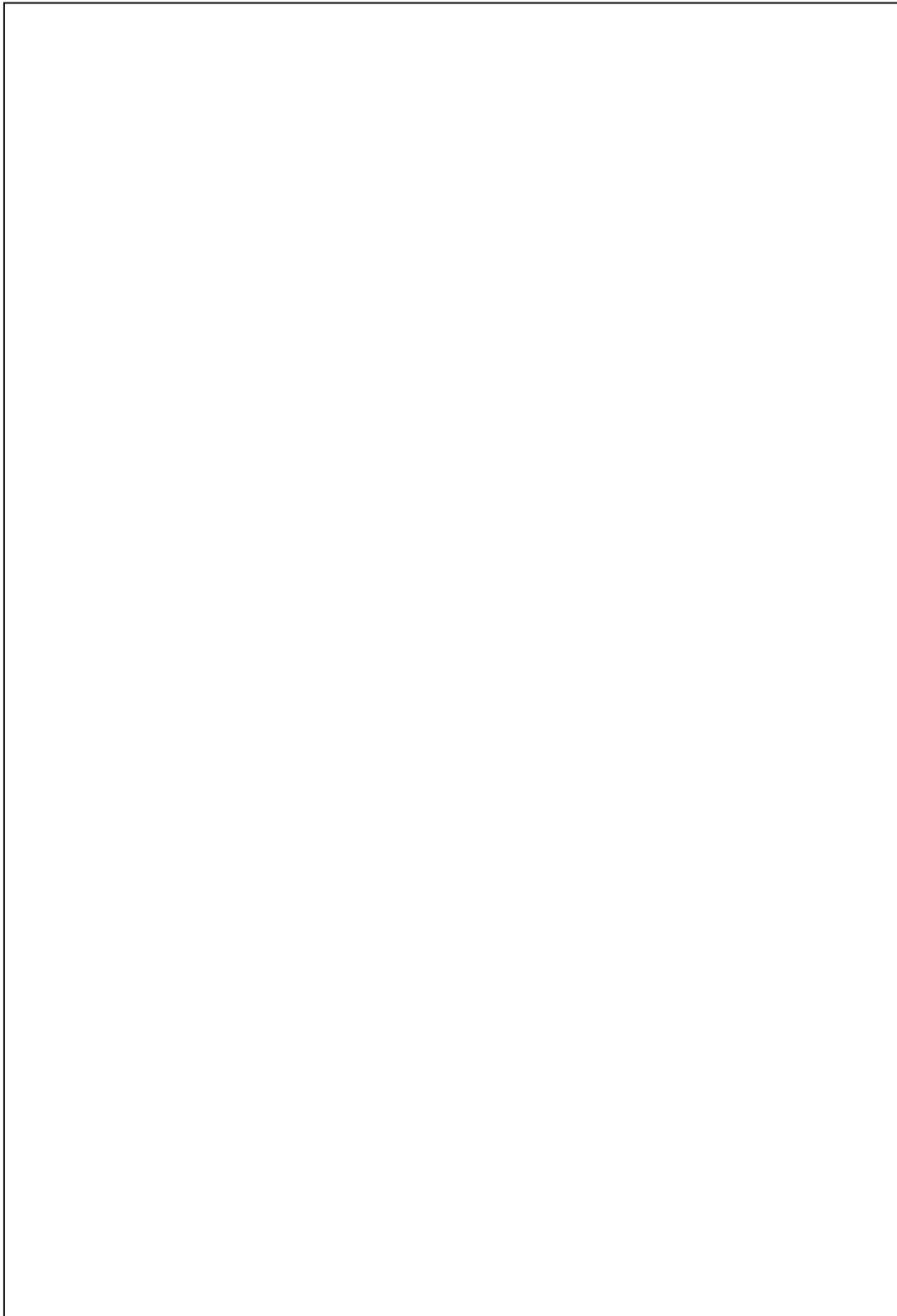
希望する方が結婚できるよう、婚活支援の取り組みを行う地域や民間団体と連携し出会いの場を創出するほか、新婚世帯の新生活に伴う費用を支援し結婚を後押しするなど、出会いから結婚までを切れ目なくサポートします。

男性の家庭活躍に向け、夫婦向けオンラインワークショップを開催し共家事・共育児を促進するほか、育児休業を取得した男性や事業主へ奨励金を支給するとともに、企業の働き方改革を進めるなど、子育てと仕事を両立できる働きやすい職場環境の整備を促進します。

ウイズコロナからポストコロナ社会における新しい暮らし方、働き方を踏まえ、東京圏からの移住やテレワークによる就労を推進するとともに、企業が行う新規採用活動のオンライン化や、社員のスキルアップに向けた取り組みを支援するなど、市内就労の促進を図ります。

組織横断的に施策を展開し、都市と田園が調和する本市の魅力を活かしたまちづくりを進めることで「選ばれる新潟市」を実現します。

memo

A large, empty rectangular box with a thin black border, intended for writing the content of the memo.

1 令和3年度当初予算の姿

当初予算編成のポイント

【予算編成の具体的な姿】

《令和3年度一般会計当初予算》

◎ 当初予算総額 3,866億円 (対前年度比△44億円 △1.1%)

※12月、2月補正の前倒し実施分(計140億円)を加えると 4,006億円
(対前年度比+96億円, +2.5%)

• 「感染拡大防止対策」「経済社会活動の再興」に向けた取り組み 16億円
※令和3年2月補正で新型コロナ対策を69億円実施

- 新規入所者や職員のPCR検査を助成
(介護施設、障がい者支援施設)
- 強みを活かした企業間連携の推進と新たな事業モデルの創出
- 新しい観光スタイルの検討・推進

※なお、一部のイベント関係予算は、「新しい生活様式に対応したイベント再開への支援」として集約、それぞれ対応を検討し、実施の可否を見極めていきます。

• 民生費・衛生費 1,479億円 (対前年度比+7億円 +0.5%)

- こども医療費の通院助成の対象を高校生まで拡大
- 病児病後児保育について新たに緊急時の送迎を実施
- 市立保育園等の職員配置基準を改善
- 地域包括支援センターの増設

• 普通建設事業費 319億円 (対前年度比△98億円 △23.5%)

※12月、2月補正の前倒し実施分(計125億円)を加えると 444億円
(対前年度比+27億円, +6.5%)

- 新潟駅周辺整備事業など拠点化に向けて着実に推進
- 国の経済対策関連事業は2月補正で前倒し実施
- 北区役所庁舎の整備が完了

• 市債残高(臨時財政対策債除く) △76億円

令和3年度当初予算の概要

【一般会計・特別会計】

(単位：百万円)

	R3 当初予算	R2 当初予算	増 ▲減	伸率%	備 考
一般会計規模	386,600	391,000	▲ 4,400	▲ 1.1 %	伸率 ①+3.2⇒②▲0.3⇒③▲1.1 地財 +2.7 +1.3 ▲1.0
(前倒しを含めた規模)	400,618		9,618	2.5 %	人件費+1,415 物件費▲628 維持補修費▲442 扶助費+999 補助費等+619 公債費+3,400 出資金貸付金▲321 繰入金+608 積立金▲278 建設事業費▲9,772
特別会計規模	247,688	245,554	2,134	0.9 %	伸率 ①+1.5⇒②+3.5⇒③+0.9 国保▲2,308 介護+621 公債+3,771 土地取得+200
扶助費	80,777	79,778	999	1.3 %	伸率 ①+2.4⇒②▲1.7⇒③+1.3 増減の主な内容 障がい福祉扶助費+528 保育園運営費等+506 こども医療費+222 児童手当▲182 児童扶養手当▲118
普通建設事業	32,129	41,894	▲ 9,765	▲ 23.3 %	伸率 ①+27.3⇒②▲7.6⇒③▲23.3 地財 +12.1 ▲2.0 ▲6.5
一般会計	31,886	41,658	▲ 9,772	▲ 23.5 %	伸率 ①27.4⇒②▲8.1⇒③▲23.5
(前倒しを含めた規模)	44,369		2,711	6.5 %	増減の主な内容 <補助> 学校改築等▲978 私立保育園等建設補助▲920 古町通7番町開発▲809 新潟駅周辺整備▲465 道路・街路▲307 文書館整備▲288
補助	22,214	26,212	▲ 3,998	▲ 15.3 %	<単独> 公共建築物保全適正化▲1,658 北区役所庁舎整備▲1,200 広域型特別養護老人ホーム整備▲1,170 学校改築等▲886 産業振興センター改修▲707 葛塚コミセン移転改修+403
単独	9,672	15,446	▲ 5,774	▲ 37.4 %	
特別会計	243	236	7	3.0 %	新潟西道路用地先行取得200 市場屋上防水▲197

【企業会計】

(単位：百万円)

	R3 当初予算	R2 当初予算	増 ▲減	伸率%	備 考
下水道事業会計	66,575	67,991	▲ 1,416	▲ 2.1 %	伸率 ①+1.3⇒②▲2.9⇒③▲2.1
水道事業会計	28,067	28,052	15	0.1 %	伸率 ①▲2.0⇒②+0.8⇒③+0.1
病院事業会計	29,285	28,608	677	2.4 %	伸率 ①▲3.6⇒②+2.6⇒③+2.4
企業会計規模	123,927	124,651	▲ 724	▲ 0.6 %	

【全会計総計】

(単位：百万円)

	R3 当初予算	R2 当初予算	増 ▲減	伸率%	備 考
合 計	758,214	761,205	▲ 2,991	▲ 0.4 %	

※端数処理の関係で合計数値と内訳が合致しない場合があります

※全会計総計は各会計の予算を足し上げたもので、各会計間におけるやり取りによる影響は反映させていません

◆ 市債の発行額

(単位:百万円)

	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	増▲減	伸率%	備考(依存度)		
市債発行額 (一般会計)	46,013	46,685	672	1.5%	R元	R2	R3
臨時財政 対策債	21,632	29,027	7,395	34.2%	本市 13.5%	11.8%	12.1%
その他	24,381	17,658	▲ 6,723	▲ 27.6%	地財 10.5%	10.2%	12.5%

◆ 市債残高(繰越分含む決算見込)

(単位:百万円)

	R元 年度末実績	R2 年度末見込	R3 年度末見込	増▲減 (R3-R2)
市債残高 (一般会計)	630,564	640,776	649,549	8,773
臨時財政 対策債	239,861	251,152	267,502	16,350
その他	390,703	389,624	382,047	▲ 7,577

◆ 基金残高の推移(予算計上済額ベース)

(単位:百万円)

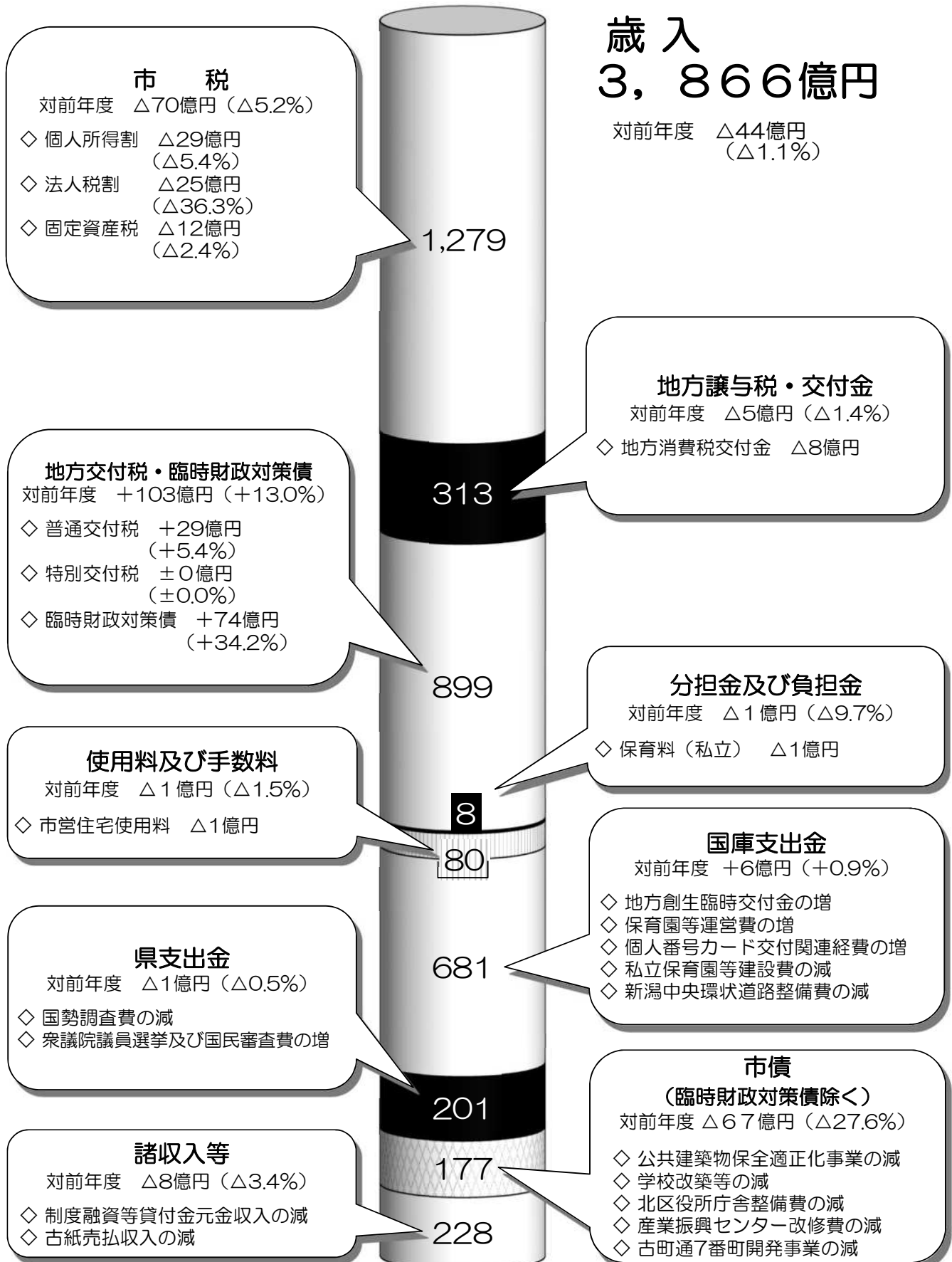
	R元 年度末実績	R2 年度末見込	R3 年度末見込
基金残高	6,052	3,526	3,526

※ 基金残高は、財政調整基金・都市整備基金・市債管理基金の合算額です。

※ 市債管理基金の満期一括償還に係る積立分を除きます。

※ 上記R2年度末見込の数値は、2月補正後の見込みです。

2 一般会計（歳入・歳出）予算の概要



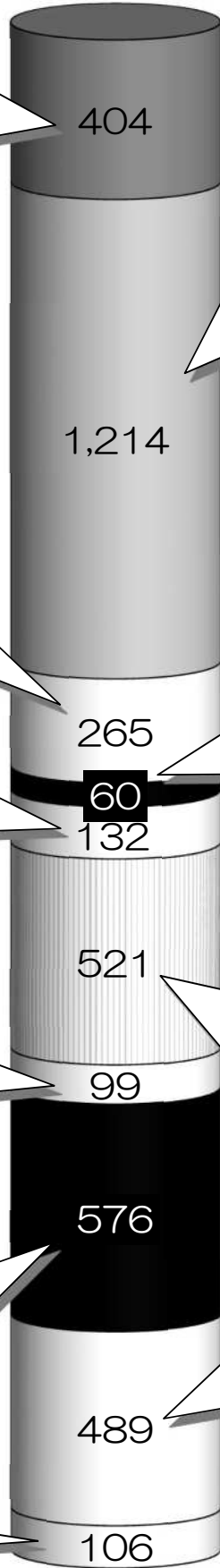
※端数処理の結果により、合計数値と内訳が合致しないものがあります。

歳出 3,866億円

対前年度 △44億円
(△1.1%)

総務費
対前年度 △12億円 (△3.0%)

- ◇ 国勢調査費の減
- ◇ 北区役所庁舎整備費の減
- ◇ 葛塚コミセン移転改修費の増



民生費
対前年度 1億円 (0.1%)

- ◇ 保育園運営費等の増
- ◇ 障がい福祉費の増
- ◇ 国民健康保険事業会計繰出金の増
- ◇ 私立保育園等建設補助の減
- ◇ 特別養護老人ホーム等建設補助の減

衛生費
対前年度 +5億円 (+2.0%)

- ◇ こども医療費助成の増
- ◇ 急患診療センター運営費の増

農林水産業費
対前年度 △3億円 (△4.5%)

- ◇ 水産物供給基盤機能保全事業の減

商工費
対前年度 △14億円 (△9.6%)

- ◇ 産業振興センター改修事業の減
- ◇ 制度融資貸付金の減

土木費
対前年度 △35億円 (△6.2%)

- ◇ 公共建築物保全適正化事業の減
- ◇ 古町通7番町開発事業の減
- ◇ 新潟駅周辺整備事業の減
- ◇ 道路・街路整備事業の減

消防費
対前年度 △5億円 (△4.4%)

- ◇ 退職手当の減

教育費
対前年度 △19億円 (△3.1%)

- ◇ 学校改築等の減
- ◇ 教師用指導書購入費の減
- ◇ 退職手当の増

公債費
対前年度 +34億円 (+7.5%)

- ◇ 元金償還金の増
- ◇ 利子償還金の減

その他

※端数処理の結果により、合計数値と内訳が合致しないものがあります。

3 持続可能な行財政運営に向けた改革

集中改革プランについて

1 未来に向かって活力ある新潟市の実現

- 本市はこれまで基金を活用しながら、合併建設計画の着実な推進など、拠点都市・新潟を目指してきました。また、社会保障関係費や施設の老朽化、更には除雪対策費の増大などの影響から基金は減少し、収支均衡した予算へと踏み出したものの、今後も財政状況は厳しい見通しです。
- こうした中でも、住みよいまち・暮らしたいまちの実現に向け、子どもを産み育てやすい環境づくりや優れた拠点性を活かした交流人口の拡大、産業経済の活性化など、真に取り組むべき重要課題へ限られた経営資源を的確に投資し、政令指定都市の第2ステージとして、拠点都市・新潟の更なる深化を図る必要があります。

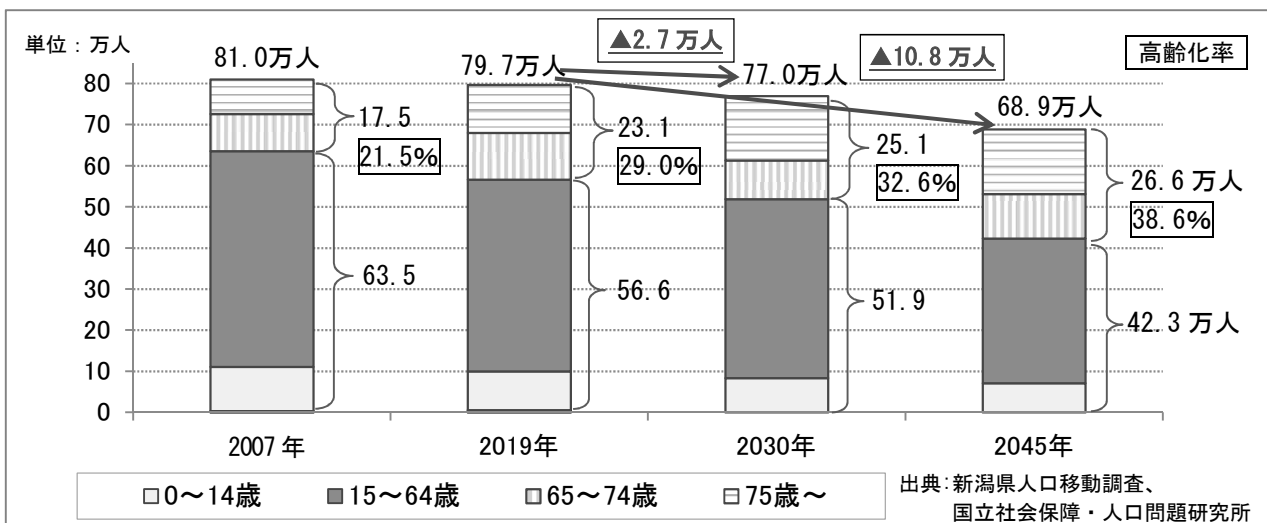
2 強固な財政運営の基盤づくり（集中改革プランの策定）

- 今後も、収支均衡で基金に頼らない財政運営を堅持し、緊急時・災害時などの財政需要に対応できる強固な財政運営の基盤づくりが必須です。
- 本格化する人口減少社会を見据え、令和元年度から3年間を集中改革期間として取り組み、スピード感を持って政策の質を変革することで、更なる財政健全化の道筋をつけていきます。

3 本市を取り巻く現状

◇ 本格化する人口減少社会の進展 [2019年比]

- 2030年 約2.7万人減少（▲3.4%）の77.0万人
- 2045年 約10.8万人減少（▲13.6%）の68.9万人となり70万人を割り込む予測
高齢者+3.5万人（+15.1%）、生産年齢人口ほか▲14.3万人（▲25.3%）



- ◇ 市税収入 → 税制改正等の影響もあり増加傾向だが、実質的にはほぼ横ばい
- ◇ 職員数 → 同規模政令市平均より約440人多い（H30 普通会計）
- ◇ 公共施設 → 人口1人当り建物保有面積が政令市の中で最大（政令市平均の約1.3倍）

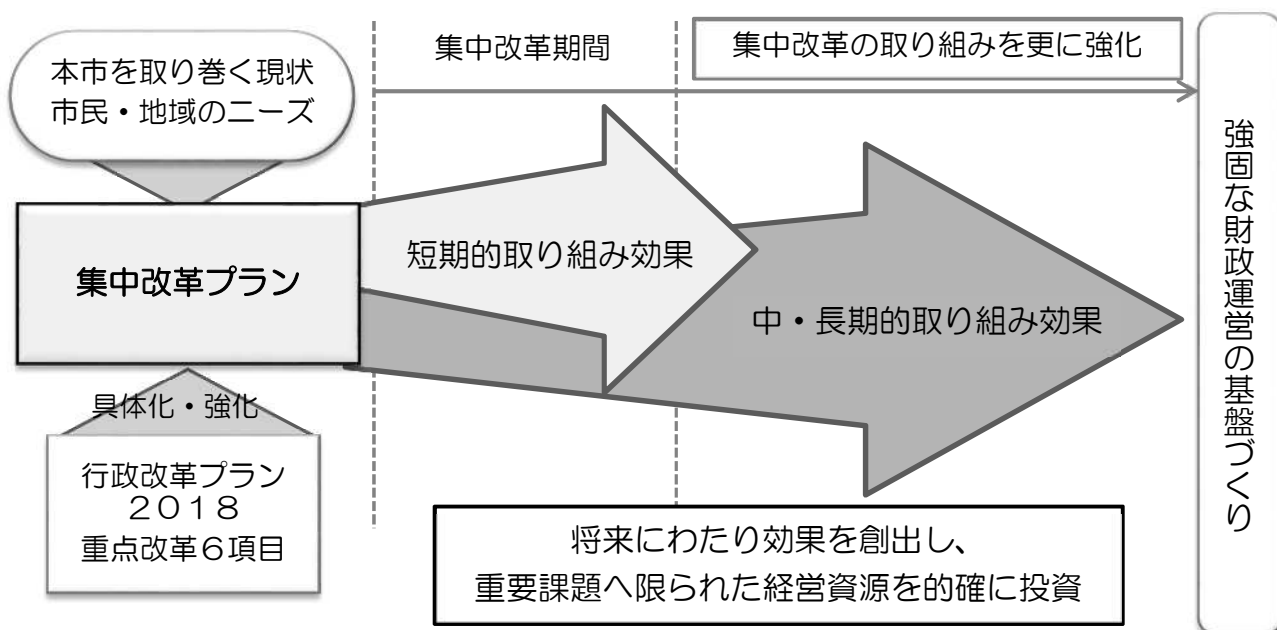
4 集中改革における視点・進め方

- 事務事業の効果，実績を評価し，限られた予算で最大限の効果が得られるよう，これまで進めてきた「事務事業の目的や成果，施設のあり方・やり方」をあらためて見極め，社会情勢の変化や市民ニーズに即した最適化を図っていきます。
- 行政改革プラン 2018 の重点改革6項目に沿って，財政基盤の強化につながる項目を抽出し，具体化・強化するとともに，中長期的な課題にも目を向け，将来を見据えた改革に着手します。

重点改革6項目
I. 選択と集中による経営資源の適正配分
II. 職員の意欲・能力を発揮できる人材育成と働き方改革の実現
III. 民間活力の導入推進，市が運営する施設のあり方の検討
IV. 持続可能な財政運営
V. 新たな財源を含めた歳入の確保と債権管理の適正化
VI. ファシリティマネジメントの考え方に基づいた財産経営のさらなる推進

- 改革にあたっては，これまで以上に市民の皆さまや関係者とも課題を共有しながら，政策の方向性や優先度の見極めを行うとともに，政策決定のプロセス強化を図り，今後も更なる洗い出しを進めることで，将来にわたり改革効果を創出していきます。

《未来に向かって活力ある新潟市の実現》



5 令和元年度・令和2年度の取り組み

- ◆ 令和元年度については、あらためて事務事業の洗い出しと優先度の見極めを行い、集中改革の効果により、こども医療費の通院助成（中学3年生まで）を拡大したほか、創業の機運醸成、本市の魅力を活かした交流人口の拡大や都心軸を中心としたまちづくりを進めるなど、政令指定都市の第2ステージとして、住みよいまち・暮らしたいまちの実現に取り組みました。
- ◆ また、令和2年度については、産後ケアの充実や就学援助の支給項目を拡充し、子育て支援を行ったほか、障がい者のグループホームの運営支援、スマート農業の導入や園芸生産の販路拡大、新たな工業用地の創出への取り組みなど、活力ある拠点都市新潟に向けたまちづくりをさらに加速しました。

6 令和3年度の取り組み

- ◆ 集中改革期間の最終年度である令和3年度については、これまでの集中改革の取り組みに加え、「新しい日常」の視点で、従来型の社会経済活動を前提とした既存事業や体制を見直すなど、9.8億円を積み増し、改革効果は18.0億円となりました。
- ◆ こうした効果を、こども医療費の通院助成（高校3年生まで）の拡大や就学援助の支給項目の拡充により、子育て世帯の負担軽減をさらに進めるほか、GIGAスクールの推進、企業の新事業展開やまちの賑わい創出につなげていきます。
- ◆ 3年間の取り組みを通じ、人口減少対策をはじめ、拠点性の向上、経済・産業の活性化への投資につなげるとともに、今後も、社会情勢の変化に注視し、更なる事業の優先度の見極めを徹底することで、持続可能な行財政運営と両立しながら、将来に向かって明るい未来を切り拓き、「選ばれる新潟市」を実現します。

7 集中改革期間の効果（一般財源ベース）

※（ ）は令和2年2月時点との差
※ 改革効果を▲として表記

全体 331事業（+99）

年 度	《集中改革期間》			（単位：億円）	
	令和元年度 実績	令和2年度 見込	令和3年度	3年間	10年間
集中改革効果 [単年度]	▲3.4 (△1.0)	▲12.2 (△2.2)	▲18.0 (△9.8)	▲33.6 (△13.0)	▲68.8 (△14.9)
うち事業費	▲1.5 (△1.0)	▲7.9 (△2.6)	▲13.1 (△9.3)	▲22.5 (△12.9)	▲38.0 (△13.1)
うち人件費	▲1.9 (0)	▲4.3 (+0.4)	▲4.9 (△0.5)	▲11.1 (△0.1)	▲30.8 (△1.8)
(正職員削減)	▲24人 (0)	▲46人 (+9)	▲50人 (+5)	▲120人 (+14)	▲346人 (+6)

- ・定員配置計画▲220人（R1～R5）⇒ 見込み▲294人（R1当初△65含む）
- ・集中改革期間の中で事業のあり方・方向性を検討中のもの：55（R2.2時点比▲21）

8 令和3年度分 効果額の主な内容

事務事業の整理統合，選択と集中による経営資源の適正配分

(単位：億円)
※ 新…R3.2月に追加したもの
9月…R2.9月に追加したもの
※ 《 》は10年間の効果額

- 住民票等証明発行の申請受付の電子化 ▲0.06 9月
- 会議等のオンライン化など(12事業) ▲0.11 9月・新
- 市立保育園登降園記録システムの導入 ▲0.26 新
- 総務事務センター設置等による共通事務の一元化 +0.7 《▲2.8》
- し尿収集運搬事業の委託料見直し ▲0.2
- 高齢者向け紙おむつ支給事業(R2見直しによる影響) ▲0.9
- 成人歯科健診の対象年齢の縮小・歯周病予防啓発の推進 ▲0.06 新
- 教育用コンピュータのリース終了の前倒し ▲4.5 《▲5.1》

市が運営する施設のあり方の検討，民間活力の導入推進

- 歴史博物館の管理運営体制の見直し ▲0.06 新
- 下水道ポンプ場維持管理業務の無人化 ▲0.15 9月
- 芸術創造村・国際青少年センターの管理運営体制の見直し ▲0.15 新
- 学校調理員・用務員業務の民間委託 ▲0.45 《▲4.3》

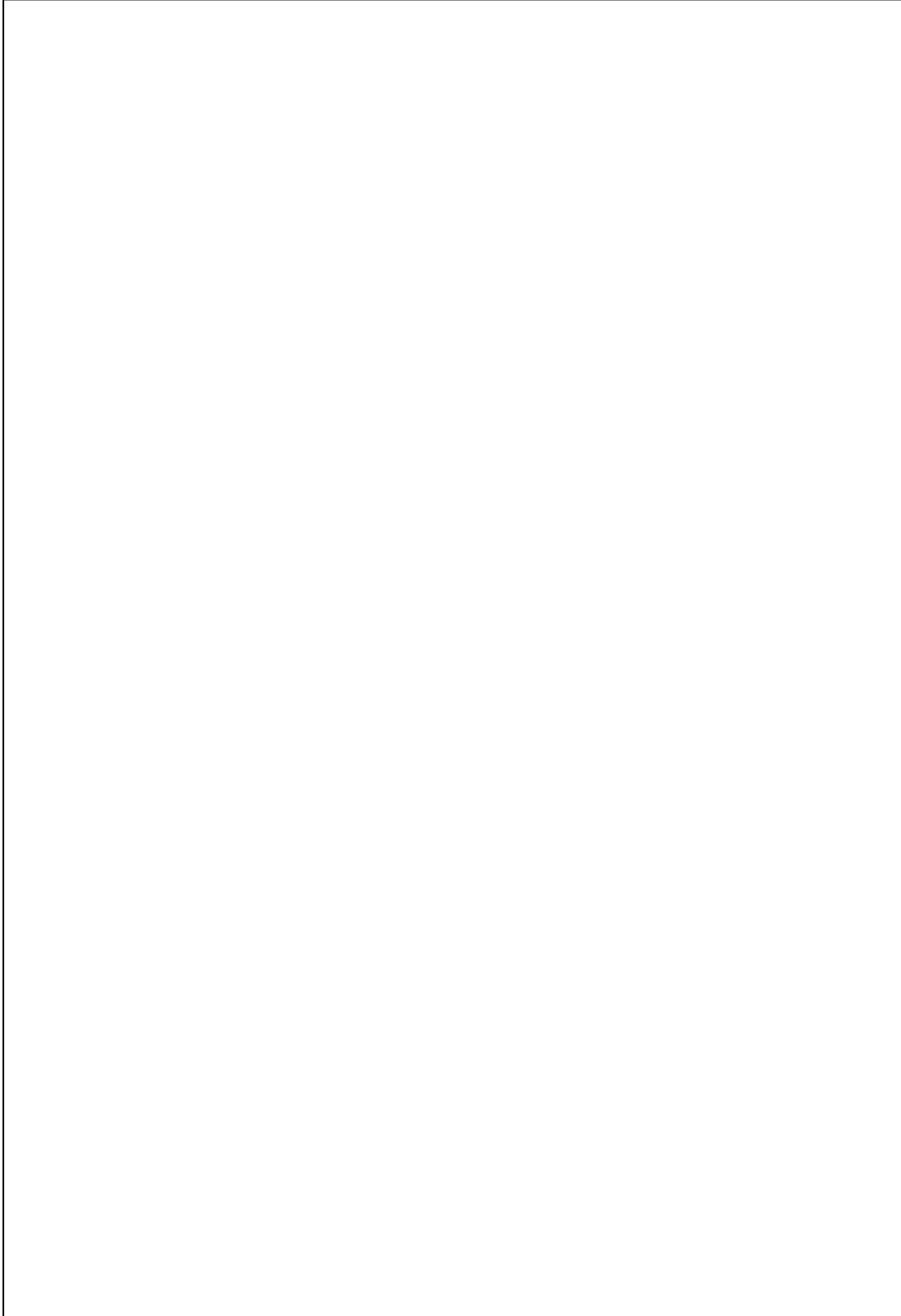
補助金・負担金・繰出金の適正化，社会資本整備の見直し

- 障がい者交通費助成(経過措置終了による) ▲0.75
- シニア半わり制度の見直し(R3は利用上限額設定) ▲0.07
- 新たな浄化槽設置整備補助の創設 +0.46
- 市民芸術文化会館事業費補助金の見直し ▲0.25
- 市国際交流協会運営費補助金の見直し ▲0.08 新
- 県ソウル事務所への運営参画の終了 ▲0.12 新
- 就学援助制度の認定基準の見直し(拡充分は別途予算計上) ▲1.5

収納率の向上や使用料・手数料の適正化，更なる財産経営の推進

- 市税等キャッシュレス導入による利便性の向上 ▲0.08 9月
- 屋外広告物許可申請手数料の見直し ▲0.01 新
- 不燃・粗大ごみ施設の一部統合 ▲0.09 9月
- ごみ埋立処分地の一部統合 ▲0.22 新
- 橋りょう長寿命化修繕計画の推進 — 新

memo

A large, empty rectangular box with a thin black border, intended for writing the content of the memo.

4 令和3年度における

重要課題への取り組み

「感染拡大防止対策」と「経済社会活動の再興」

「感染拡大防止対策」と「経済社会活動の再興」	… 17 頁
------------------------	--------

選ばれる都市 新潟市 ～ ウイズコロナ・ポストコロナ時代のまちづくり～

選ばれる都市 新潟市 ～ ウイズコロナ・ポストコロナ時代のまちづくり～	… 19 頁
-------------------------------------	--------

「にいがた未来ビジョン」各都市像の取り組み

市民と地域が学び高め合う、安心協働都市

□ずっと安心して暮らせるまち	… 24 頁
□男女共同参画の推進・子どもを安心して産み育てられるまち	… 26 頁
□学・社・民の融合による教育を推進するまち	… 27 頁
□地域力・市民力が伸びるまち	… 27 頁

田園と都市が織りなす、環境健康都市

□地域資源を活かすまち	… 28 頁
□人と環境にやさしいにぎわうまち	… 29 頁
□誰もがそれぞれにふさわしい働き方ができるまち	… 30 頁

日本海拠点の活力を世界とつなぐ、創造交流都市

□新潟にふさわしい役割を果たし成長する拠点	… 31 頁
□雇用が生まれ活力があふれる拠点	… 32 頁
□魅力を活かした交流拠点	… 33 頁
□世界とつながる拠点	… 34 頁

第2期 新潟市まち・ひと・しごと創生総合戦略 ～将来にわたって活力ある 住みよいまち 暮らしたいまち 新潟を目指して～

(1) 「しごと」新潟の強みを活かしたしごとをつくり、稼ぐ力を高め地域経済を活性化させる	… 36 頁
(2) 「しごと」新潟への新しいひとの流れと交流を生み出す	… 37 頁
(3) 「ひと」結婚・出産・子育ての希望をかなえる、新潟の将来を担う人材を育てる	… 38 頁
(4) 「まち」誰もが安心して暮らせる持続可能なまち、魅力あるまち新潟をつくる	… 39 頁

「感染拡大防止対策」と

「経済社会活動の再興」

「感染拡大防止対策」と「経済社会活動の再興」

新型コロナウイルス感染症から市民の命と健康を守るため、「感染拡大防止対策」をしっかりと進めていきます。また、市民の暮らしを守るため、新型コロナウイルス感染症により大きく影響を受けた「経済社会活動の再興」に取り組んでいきます。

こうした取り組みを両輪で進め、一刻も早い平穏な日常の回復を目指します。

感染拡大防止対策

◇ 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業	【新規・2月補正】	4,470,304 千円
◇ 妊婦への分娩前PCR検査助成	【2月補正】	4,800 千円
◇ 高齢者への検査助成		24,000 千円
◇ 障がい者支援施設等におけるPCR検査等費用の助成		3,000 千円
◇ 介護保険施設等職員に対する検査費用補助		80,000 千円
◇ 介護施設等の多床室個室化改修支援	【2月補正】	15,950 千円
◇ 地域活動補助金		109,000 千円
◇ 地域防災力の育成		26,499 千円
◇ 備蓄物資の管理体制の強化	【拡充・2月補正】	40,000 千円
◇ 学校園における衛生用品等購入	【拡充・2月補正】	194,600 千円
◇ 区バス車両感染対策	【新規・2月補正】	75,400 千円

経済社会活動の再興

◇ 企業間連携を促し新たな事業活動を創出	【新規】	120,000 千円
◇ 雇用調整助成金利用促進事業		10,000 千円
◇ 地域のお店応援商品券の発行	【拡充・2月補正】	1,110,000 千円
◇ 地域を支える商店街への支援	【拡充】	140,000 千円
◇ 中小企業生産性向上設備投資補助金	【拡充】	150,000 千円
◇ ITソリューション補助金	【新規】	50,000 千円
◇ 離職者等雇用事業所奨励金		120,000 千円
◇ 中小企業が行う社員教育の支援		40,000 千円
◇ 新規採用活動支援事業	【拡充】	46,000 千円
◇ 新しい観光スタイルの検討・推進	【拡充】	64,000 千円
◇ 地方創生テレワーク補助金	【新規・2月補正】	96,000 千円
◇ 文化活動再開に向けた支援		20,000 千円
◇ 地域で弁当交流応援事業	【新規】	100,000 千円

選ばれる都市 新潟市

～ ウイズコロナ・ポストコロナ時代のまちづくり～

選ばれる都市 新潟市

～ウイズコロナ・ポストコロナ時代のまちづくり～

1 都市と田園が調和し、「暮らしやすいまち」

本市は人口が集積している都市部を、自然豊かな田園地域が包み込むように共存しています。このことにより、豊かな水資源や四季折々の自然、広大な水田風景、それらが育む美味しい農産物といった田園の恵みと、充実した子育て・教育・福祉環境や3大都市圏と高速交通ネットワークでつながる高い利便性を有するなど、家族と心豊かに暮らせ、新しい働き方にも適した都市の機能を併せ持っていると言えます。

コロナ禍で人々の価値観や企業の意識、働き方を始めとした生活スタイルが変化する中、都市と田園の調和により享受できる「暮らしやすさ」が、本市の大きな優位性として浮かび上がってきました。

本市の暮らしやすさをオール新潟体制で市内外にアピールしていくとともに、田園地域と調和した都市という優位性を土台に、さらなる住民福祉の向上を図っていくことで、「暮らしやすいまち」として選ばれる新潟市を創っていきます。

令和3年度 主な取り組み

◇ 妊産婦及び子ども医療費の助成	【拡充】	2,347,504 千円
◇ 妊娠・出産サポート体制の整備		15,096 千円
◇ 産後ケア利用料の助成		8,440 千円
◇ 多胎児支援	【拡充】	3,030 千円
◇ 私立保育園等建設費補助		635,155 千円
	【2月補正】	171,325 千円
◇ 病児・病後児保育	【拡充】	186,527 千円
◇ 放課後児童の健全育成（放課後児童クラブ）		2,125,084 千円
◇ コミュニティ・スクールの推進	【拡充】	3,300 千円
◇ 通学路等の交通安全の確保	【拡充】	16,000 千円
◇ 地域の茶の間の推進		36,401 千円
◇ 介護予防・日常生活支援総合事業		2,525,871 千円
◇ 地域包括支援センター運営費	【拡充】	868,749 千円
◇ 認知症地域支援コーディネーターの配置	【新規】	6,000 千円
◇ 認知症サポーターの養成		6,620 千円
◇ 東京圏から移住・就業する方への支援		36,600 千円
◇ 新潟暮らし創造運動の推進		12,471 千円
◇ 地方創生テレワーク補助金	【新規・2月補正】	96,000 千円

2 「訪れたいまち」「ビジネスを展開するまち」

都心エリア「にいがた2km」のこれからの成長エネルギーを市域全体に波及できるよう取り組みを進めるとともに、全庁を挙げて本市が誇る食や農といった強みを伸ばし、これらをコラボレーションさせて新しい価値を生み出すことで、「訪れたいまち」「ビジネスを展開するまち」として、市内外から選ばれるよう取り組んでいきます。

都心の成長エネルギーを市域全体へ

新潟駅周辺整備により南北市街地が一体化し、「新しい都心軸」が誕生するなど、大きな節目を迎えるまちの動きを新潟市の活性化への転換期と捉え、人口減少下においても住民福祉に投資できるよう、官民連携して経済活力を生み、多くの人を惹きつける魅力的な雇用を創出していきます。

「新潟駅周辺」－「万代」－「古町」とつながる都心エリア「にいがた2km」が、人・モノ・情報を呼び込む「稼げる都心」となるよう目指していきます。

令和3年度 主な取り組み

◇ 都市デザインの推進	【拡充】	19,000 千円
◇ 都心部の戦略的な再開発促進（都市再生緊急整備地域事業）	【拡充】	6,500 千円
◇ 緑のまちなか空間創造	【拡充】	13,500 千円
◇ 都心のまちづくりの推進	【新規】	17,000 千円
◇ 古町地区の空き店舗活用への支援	【新規】	15,200 千円
◇ チャレンジショップの拡充	【拡充】	16,081 千円
◇ 新潟駅周辺地区の整備		9,671,539 千円
	【2月補正】	4,580,000 千円
◇ 新潟駅交通ターミナル（仮称：バスタ新潟）の整備		23,333 千円
◇ 新しい観光スタイルの検討・推進	【拡充】	64,000 千円
◇ スタートアップ企業と既存企業との協業促進、起業家予備軍の育成	【拡充】	33,900 千円
◇ DXプラットフォームの構築	【拡充】	15,500 千円
◇ 企業誘致の推進		2,859 千円
◇ 製造・物流の企業立地への助成	【拡充】	529,000 千円
◇ 情報通信関連産業立地促進事業補助金	【拡充】	103,895 千円
◇ 新潟空港の利用活性化促進		56,038 千円
◇ 新潟港の利用促進		2,500 千円
◇ 新潟中央環状道路整備事業		2,320,000 千円
	【2月補正】	238,000 千円

「食」「農」の連鎖が新潟市産業の強み

本市は大農業都市である全国トップクラスの「農」という土台の上に、多様な食品製造業が展開されており、こうした食と農の連鎖が本市の産業を牽引してきました。

「農」の分野では、特区制度を活用しつつ、スマート農業技術や革新的農業技術の導入による生産性向上、高収益園芸の推進やナショナルブランド化、栽培・加工・販売に関する技術向上の支援を進め、労働力不足や食料需要の減少といった新潟市の農業が抱える課題を解決しながら、市産農産物の高付加価値化を目指します。

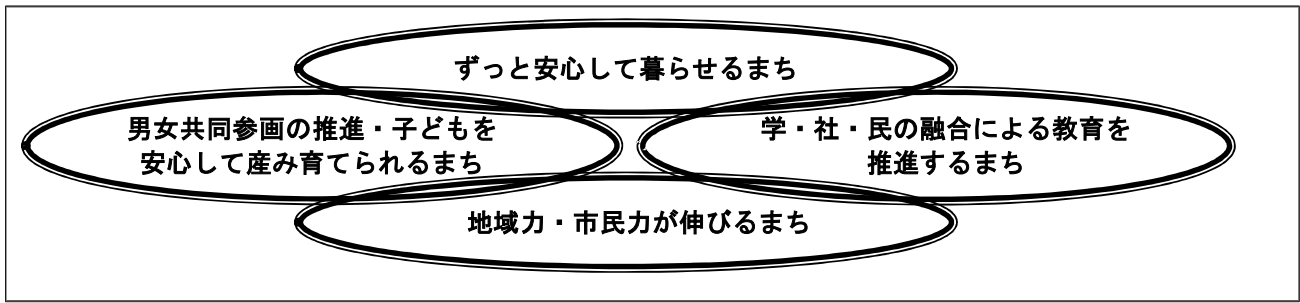
「食」の分野では、「食」関連産業が集積する新潟市を拠点に、「食」とICT技術を組み合わせ、様々な技術やアイデアを持つ人材や企業が「食」をキーワードとして結び付き、新たなビジネスを創出する「フードテック・プロジェクト」を推進することにより、新潟市から世界に向けて新しい価値を発信することを目指していきます。

令和3年度 主な取り組み

◇ 元気な農業応援事業	【拡充】	695,400 千円
◇ 農産物高付加価値化の推進		7,000 千円
◇ 農業活性化研究センター研究費		11,350 千円
◇ 園芸作物販路拡大の促進		2,300 千円
◇ 6次産業化・農商工連携の支援		5,400 千円
◇ 国家戦略特区制度の活用		105,222 千円
◇ 食文化創造都市の推進		9,512 千円
◇ 食と花の世界フォーラム		33,123 千円
◇ 新潟の食と花のPR事業		1,185 千円
◇ スタートアップ企業と既存企業との協業促進、 起業家予備軍の育成	【拡充】	33,900 千円
◇ 食の商品開発支援（新潟IPC財団補助金の一部）		5,200 千円
◇ 食の商談・取引の支援（新潟IPC財団補助金の一部）		1,824 千円
◇ 新潟製品の輸出の促進		6,500 千円

「にいがた未来ビジョン」 各都市像の取り組み

※本頁以降の事業名に記載されている<まち><ひと><しごと>は、P35～40に「新潟市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の主な事業として掲載した分野を示しています。



☆ずっと安心して暮らせるまち☆

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域包括支援センターを増設し機能強化を図るほか、新たに認知症地域支援コーディネーターを配置し、認知症の方や家族への支援体制を充実するなど、地域で医療と介護が受けられる「地域包括ケアシステム」をさらに深化させていきます。

高齢者を地域で支える仕組みづくり

◇ 介護予防・日常生活支援総合事業		2,525,871 千円
(主な内訳)		
・ 訪問型サービス		652,068 千円
・ 通所型サービス		1,525,949 千円
・ 地域包括ケア推進モデルハウスの充実		9,551 千円
・ フレイル予防の推進	<まち> 【拡充】	3,329 千円
・ 元気力アップ・サポーター制度の推進		22,454 千円
・ 認知症予防出前講座		1,582 千円
◇ 地域包括支援センター運営費	【拡充】	868,749 千円
◇ 地域の茶の間の推進	<まち>	36,401 千円
◇ 支え合いのしくみづくり会議・推進員の活動推進		164,825 千円
◇ 訪問型生活支援モデル事業		1,083 千円
◇ 多職種による介護予防ケアプランの検討		18,552 千円
◇ 介護人材の確保	<まち>	3,632 千円
◇ 在宅医療・介護連携の推進		79,464 千円
◇ 民生委員・児童委員活動費		203,952 千円
◇ 介護サービス基盤の整備（特別養護老人ホームの整備など）		465,100 千円
◇ 認知症初期集中支援チームの活動推進		28,319 千円
◇ 認知症地域支援コーディネーターの配置	<まち> 【新規】	6,000 千円
◇ 医療・介護従事者向けの研修		9,120 千円
◇ 認知症サポーターの養成	<まち>	6,620 千円
◇ 子育て・健康長寿のための健幸すまいるリフォーム支援		80,000 千円

【各区での取り組み】

◇ 北区 もの忘れ検診		800 千円
◇ 東区 地域と取り組む！ 高齢者見守り訪問・介護予防	【新規】	2,500 千円
◇ 中央区 話そう・つなごう・あなたの思い 終活きっかけ作り		1,102 千円
◇ 江南区 ふれあい・ささえあいプランの推進	【拡充】	3,490 千円
◇ 秋葉区 地域ぐるみでフレイル予防		900 千円
◇ 南区 健康づくりの推進		2,100 千円
◇ 西区 支え合いのまちづくり支援		3,340 千円
◇ 西蒲区 地域いきいきながいきサポート	【新規】	2,690 千円

障がいのある人などが地域で自立した生活をおくるための支援

◇ 共生のまちづくり条例の普及啓発		1,953 千円
◇ 障がい者基幹相談支援センターの運営		129,891 千円
◇ 障がい者夜間休日相談の支援		18,768 千円
◇ 障がい者就業支援センターの運営	<まち>	31,201 千円
◇ 障がい者グループホーム運営費補助金		120,491 千円
◇ 障がい者支援施設における個室化改修等の支援	【2月補正】	328,500 千円
◇ 文化芸術による共生社会の推進	<しごと> 【拡充】	3,437 千円

快適に移動できるまちづくり

◇ 生活交通の確保維持・強化	<まち>	385,407 千円
◇ 公共交通の利用促進	<まち>	188,690 千円
◇ (仮称)上所駅の整備	<まち>	20,000 千円
◇ バス交通の改善		13,670 千円
	【2月補正】	61,000 千円

市民生活での安心・安全の確保

◇ 在宅医療・救急医療連携の推進		5,600 千円
◇ 救急体制の充実		119,077 千円
◇ 救急医療対策の推進		715,995 千円
◇ 自殺総合対策の推進	【拡充】	39,775 千円
◇ 難病患者への支援		1,074,642 千円
◇ 生活困窮者自立相談支援	【拡充】	71,860 千円
◇ 住居確保給付金	【拡充】	86,062 千円
◇ ひとり親家庭への支援		2,913,613 千円
◇ 成年後見事業への支援	【拡充】	26,931 千円
◇ 防犯カメラ整備補助金	<まち>	12,500 千円
◇ 通学路等の交通安全の確保	<まち> 【拡充】	16,000 千円
◇ 空き家活用支援	<しごと・まち>	29,200 千円
◇ 除雪対策		2,388,000 千円

災害に強いまちづくり

◇ 地域防災力の育成	<まち>	26,499 千円
◇ 備蓄物資の管理体制の強化	【拡充・2月補正】	40,000 千円
◇ 災害関連情報伝達の拡充	【新規】	22,426 千円
◇ 国直轄事業負担金		1,300,000 千円
◇ 国県道の整備		1,683,730 千円
	【2月補正】	85,000 千円
◇ 道路・橋りょうの維持補修	<まち>	3,705,214 千円
	【2月補正】	129,000 千円
◇ 公共下水道の整備 (浸水対策の推進,下水道施設の地震・津波対策の推進など)		6,468,800 千円
	【2月補正】	1,030,000 千円
◇ 下水道施設の機能確保 (ストックマネジメントによる維持管理の実施)	<まち>	6,247,107 千円
◇ 住宅・建築物の耐震化への支援		30,361 千円
◇ 農業用排水施設等の管理運営・長寿命化		488,075 千円

☆男女共同参画の推進・子どもを安心して産み育てられるまち☆

安心して子どもを産み育てられるよう、こども医療費の通院助成の対象を高校生までに拡大し子育て世帯の負担軽減を図るとともに、産前産後での負担が特に大きい多胎妊産婦への支援を充実します。また、保育施設の整備を支援するほか、病児・病後児保育において保育園等で体調不良となった児童の緊急的な送迎対応を新たに開始するなど、多様な保育ニーズへの対応を進めます。

妊娠・出産・子育ての一貫した支援

◇ 妊産婦及びこども医療費の助成	<ひと> 【拡充】	2,347,504 千円
◇ 妊娠・出産サポート体制の整備	<ひと>	15,096 千円
◇ 産後ケア利用料の助成	<ひと>	8,440 千円
◇ 特定不妊治療・不育症治療費の助成	<ひと> 【拡充】	244,105 千円
◇ 多胎児支援	<ひと> 【拡充】	3,030 千円
◇ 妊婦・乳児健康診査費の助成		591,821 千円
◇ 養育支援訪問		840 千円
◇ 私立保育園等建設費補助	<ひと>	635,155 千円
	【2月補正】	171,325 千円
◇ 延長保育		143,589 千円
◇ 休日保育		60,805 千円
◇ 病児・病後児保育	<ひと> 【拡充】	186,527 千円
◇ 一時預かり（保育所型）		164,188 千円
◇ 放課後児童の健全育成（放課後児童クラブ）	<ひと>	2,125,084 千円
◇ 子育てワンストップサービス事業	<ひと>	3,150 千円
◇ 地域子育て支援拠点の運営	<ひと>	348,668 千円
◇ ファミリー・サポート・センターの運営	<ひと>	10,880 千円
◇ にいがたっ子すこやかパスポート	<ひと>	790 千円
◇ 出会い・結婚サポート事業	<ひと> 【新規】	1,000 千円
◇ 結婚新生活への支援	<ひと> 【拡充】	25,600 千円
◇ 里親への支援（児童相談所特別事業）		1,319 千円
◇ 子どもの学習・生活支援		31,266 千円
◇ 子育て・健康長寿のための健幸すまいリフォーム支援		80,000 千円

【各区での取り組み】

◇ 北区 子育ての応援	【拡充】	3,500 千円
◇ 東区 ウェブでつながるマタニティ期からの子育て応援	【新規】	4,200 千円
◇ 中央区 みんなでつながるにっこにこ子育ての応援		5,230 千円
◇ 江南区 地域で見守り応援事業 ～見守る目、見守る心～	【拡充】	990 千円
◇ 秋葉区 アキハで子育てサポート		4,550 千円
◇ 南区 みんなで子育てネットワーク		1,600 千円
◇ 西区 西区の子育て応援		4,000 千円
◇ 西蒲区 ふれあい、支えあう子育て支援		2,000 千円

ワーク・ライフ・バランスの推進

◇ 働き方改革の推進	<しごと・ひと>	1,750 千円
◇ 社員幸福度向上応援事業	<しごと・ひと>	4,100 千円
◇ 女性の活躍応援	<ひと>	800 千円
◇ 男性の家庭活躍推進	<ひと> 【拡充】	8,500 千円

☆学・社・民の融合による教育を推進するまち☆

学校が地域と一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校」づくりを進めるため、コミュニティ・スクールを推進するほか、GIGAスクール構想の実現に向け、授業におけるICT支援員を新たに配置するなど、創造性を育む教育環境を充実します。

自分の力に自信をもち心豊かな子どもを育む学校教育の推進

◇ 学力向上対策		10,505 千円
◇ 新潟発わくわく教育ファームの推進	<しごと・ひと>	21,872 千円
◇ 就学援助費	<ひと>	931,412 千円
◇ ICT支援員の配置	<ひと> 【新規】	96,000 千円
◇ コミュニティ・スクールの推進	<ひと> 【拡充】	3,300 千円
◇ スクールソーシャルワーカー活用事業		11,162 千円
◇ 学校事務支援員の配置	【拡充】	51,705 千円
◇ 部活動指導員の配置		12,093 千円
◇ 教職員研修の充実		6,765 千円
◇ 学校の大規模改造	【2月補正】	2,813,700 千円
◇ 学校図書館支援センターの運営		2,005 千円
◇ 全国高等学校総合体育大会開催	【拡充】	36,000 千円

創造力と人間力を高める生涯学習の推進

◇ 新潟市奨学金貸付制度	<ひと>	92,403 千円
◇ ブックスタートの実施		3,377 千円
◇ 子どもが読書に親しむ機会の充実		511 千円
◇ にいがた市民大学の開設		5,400 千円

自立し開かれた学びの支援

◇ 地域と学校パートナーシップ事業	<ひと>	135,828 千円
◇ 子どもふれあいスクール事業		28,763 千円
◇ アフタースクール学習支援	<ひと>	6,094 千円

☆地域力・市民力が伸びるまち☆

多様化する地域の課題や市民のニーズに的確に対応するため、本市の誇る「地域力・市民力」を活かし、区自治協議会や地域コミュニティ協議会、NPO、民間企業など地域づくりのさまざまな主体がさらに活躍できるよう支援し、協働によるまちづくりを進めていきます。

地域コミュニティ協議会とのさらなる協働の推進

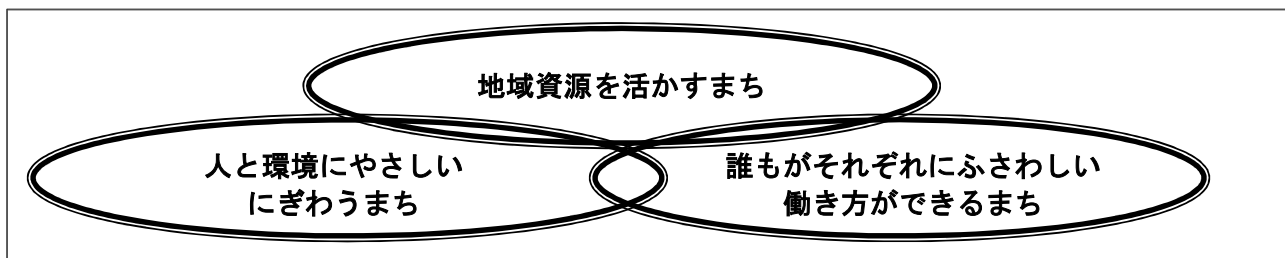
◇ 地域コミュニティ協議会運営助成金		91,380 千円
◇ 地域コミュニティの育成支援		2,928 千円
◇ 地域活動補助金	<まち>	109,000 千円
◇ 支え合いのしくみづくり会議・推進員の活動推進		164,825 千円
◇ 地域の茶の間の推進	<まち>	36,401 千円

区自治協議会とのさらなる協働の推進

◇ 区自治協議会委員研修会		134 千円
---------------	--	--------

NPOや民間企業などとのさらなる協働の推進

◇ 地域活動補助金	<まち>	109,000 千円
-----------	------	------------



☆地域資源を活かすまち☆

本市の有する豊富な田園資源を、「子育て」、「教育」、「福祉」、「保健・医療」、「エネルギー・環境」、「交流」などの分野に最大限活用していく「12次産業化」を官民一体で推進し、地域資源を活かしたまちづくりを進めます。

食と農を通じた地域づくり

◇ 新潟発わくわく教育ファームの推進	〈しごと・ひと〉	21,872 千円
◇ 農・福連携の推進	〈しごと〉	1,998 千円
◇ 農業と障がい福祉の連携促進		3,998 千円
◇ 食育の推進		2,000 千円
◇ 花育の推進		587 千円
◇ 農産物高付加価値化の推進		7,000 千円
◇ 農業応援隊受入の推進	〈しごと〉	1,000 千円
◇ 食文化創造都市の推進	〈しごと〉	9,512 千円

まちの活力に活かす「水と土」

◇ 潟のネットワーク事業		1,149 千円
◇ 水と土の宝物活用		2,496 千円
◇ 都心軸・萬代橋周辺エリア賑わい空間の創造	〈まち〉	1,717 千円

地域の個性、歴史、文化に根ざしたまちづくり

◇ 古町芸妓の育成支援	〈しごと〉	4,000 千円
◇ 古町花街の歴史的な街並みの保存	【拡充】	7,500 千円

【各区での取り組み】

◇ 北区 水辺環境の魅力発信		2,000 千円
◇ 東区 東区プラザ開館10周年記念 東区歴史文化プロジェクト	【新規】	1,500 千円
◇ 中央区 みなとまち新潟 伝統的産業PR		3,300 千円
◇ 江南区 北方文化博物館を活用した文化発信	【新規】	1,700 千円
◇ 秋葉区 文化遺産の情報発信	【拡充】	1,000 千円
◇ 南区 未来につなぐ文化プロジェクト	【新規】	3,500 千円
◇ 西区 西区を堪能 まち歩き・観光ツアー		1,500 千円
◇ 西蒲区 「矢垂の郷」賑わいづくりプロジェクト	【新規】	1,000 千円

☆人と環境にやさしいにぎわうまち☆

新潟駅、万代、古町をつなぐ「にいがた2km」を人・モノ・情報が行き交う都心エリアとし、そこで生まれた活力を市全体の活性化につなげていくため、駅周辺整備や都市再生緊急整備地域の指定に向けた取り組みを着実に進めていきます。

2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」に向けた取り組みを推進するため、脱炭素経営を目指す中小企業等を支援し、再エネ100%転換に向けた普及啓発を図ります。

まちなか再生・都心軸の明確化

◇ 都市デザインの推進	<まち> 【拡充】	19,000 千円
◇ 都心部の戦略的な再開発促進（都市再生緊急整備地域事業）	<まち> 【拡充】	6,500 千円
◇ 緑のまちなか空間創造	<まち> 【拡充】	13,500 千円
◇ 新潟駅周辺地区の整備	<まち>	9,671,539 千円
	【2月補正】	4,580,000 千円
◇ 新潟駅交通ターミナル（仮称：バスタ新潟）の整備	<まち>	23,333 千円
◇ 万代5丁目地区まちなか再生建築物等整備事業の推進	<まち>	110,000 千円
◇ 新潟駅南口西地区まちなか再生建築物等整備事業の推進	<まち> 【新規】	129,400 千円
◇ 万代島にぎわい空間の創造	<まち>	32,435 千円
◇ 公共交通の利用促進	<まち>	188,690 千円
◇ 都心のまちづくりの推進	<まち> 【新規】	17,000 千円
◇ 古町地区の空き店舗活用への支援	<しごと> 【新規】	15,200 千円
◇ チャレンジショップの拡充	<しごと> 【拡充】	16,081 千円
◇ 古町花街の歴史的な街並みの保存	【拡充】	7,500 千円
◇ 創業時の賃料補助（店舗・オフィス）		9,633 千円

健幸都市づくり（スマートウェルネスシティ）の推進

◇ 健康寿命の延伸に向けた取り組み（地域課題に応じた取り組み、企業が自ら「健康経営®」に取り組むための支援）	<まち>	20,874 千円
◇ 健幸になれるまちづくりの推進	<まち>	4,136 千円
◇ 自転車利用環境の整備		40,744 千円
◇ 自転車活用イベントの開催（シティライド・ヒルクライム）		1,000 千円
◇ 新潟シティマラソン開催費		24,145 千円
◇ 多職種による介護予防ケアプランの検討		18,552 千円
◇ フレイル予防の推進	<まち> 【拡充】	3,329 千円
◇ オーラルフレイル予防の推進	【拡充】	4,422 千円
◇ シニアはつらつにいがた総おどり		4,602 千円
◇ 生活習慣病健診・各種がん検診	<まち>	1,096,373 千円
◇ 生活習慣病健診・各種がん検診（ミニドック型集団健診）		9,065 千円
◇ 国民健康保険特定健康診査		626,840 千円

※「健康経営®」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です

持続可能な公共交通体系の構築

◇ 生活交通の確保維持・強化	<まち>	385,407 千円
◇ 公共交通の利用促進	<まち>	188,690 千円
◇ （仮称）上所駅の整備	<まち>	20,000 千円
◇ バス交通の改善		13,670 千円
	【2月補正】	61,000 千円
◇ 区バス車両感染対策	【新規・2月補正】	75,400 千円

資源循環型社会への取り組み・低炭素型まちづくり

◇ 地球温暖化対策の推進	〈まち〉	286 千円
◇ 中小企業等再エネ100%目標設定補助金	〈まち〉 【新規】	1,000 千円
◇ 3R意識啓発の強化		15,878 千円
◇ 家庭系生ごみ減量・資源化の支援		8,267 千円
◇ 浄化槽整備の推進	【拡充】	60,330 千円
◇ 新焼却施設整備事業	【拡充】	50,000 千円

☆誰もがそれぞれにふさわしい働き方ができるまち☆

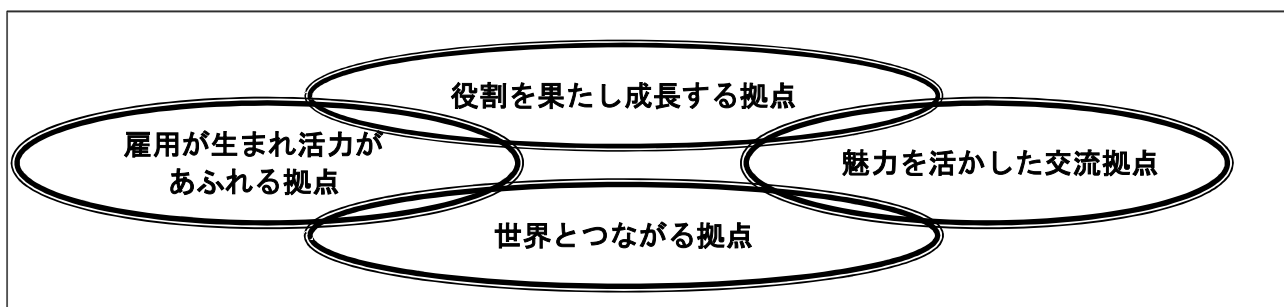
男性の家庭活躍に向け、夫婦向けオンラインワークショップを開催し共家事・共育児を促進するほか、育児休業を取得した男性や事業主へ奨励金を支給するとともに、企業の働き方改革を進めるなど、子育てと仕事を両立できる働きやすい職場環境の整備を促進します。

女性や若者などがいきいきと働ける環境づくり

◇ 働き方改革の推進	〈しごと・ひと〉	1,750 千円
◇ 社員幸福度向上応援事業	〈しごと・ひと〉	4,100 千円
◇ 女性の活躍応援	〈ひと〉	800 千円
◇ 男性の家庭活躍推進	〈ひと〉 【拡充】	8,500 千円
◇ 市内就労の促進	〈しごと〉	1,630 千円
◇ 地方創生テレワーク補助金	〈しごと〉 【新規・2月補正】	96,000 千円
◇ 新規採用活動支援事業	〈しごと〉 【拡充】	46,000 千円
◇ 中小企業が行う社員教育の支援	〈しごと〉	40,000 千円
◇ 働きがいのある新潟地域創造事業	〈しごと・ひと〉	500 千円
◇ 新潟地域若者サポートステーションの運営		16,606 千円
◇ 保育士修学資金貸付等事業負担金	〈ひと〉 【新規】	2,407 千円
◇ 保育士宿舍借り上げ支援事業	〈ひと〉	14,100 千円
◇ 介護人材の確保	〈まち〉	3,632 千円
◇ 新潟市奨学金貸付制度	〈ひと〉	92,403 千円
◇ 企業参加型奨学金返済支援事業	〈しごと〉	3,000 千円
◇ 新潟暮らし創造運動の推進	〈しごと・ひと〉	12,471 千円
◇ 東京圏から移住・就業する方への支援	〈しごと〉	36,600 千円
◇ 移住モデル地区定住促進住宅支援	〈しごと〉	1,442 千円
◇ 空き家活用支援	〈しごと・まち〉	29,200 千円

障がいのある人などがいきいきと働ける環境づくり

◇ 障がい者就業支援センターの運営	〈まち〉	31,201 千円
◇ 障がい者基幹相談支援センターの運営		129,891 千円
◇ 農業と障がい福祉の連携促進		3,998 千円
◇ 農・福連携の推進	〈しごと〉	1,998 千円
◇ 新潟発わくわく教育ファームの推進	〈しごと・ひと〉	21,872 千円



☆新潟にふさわしい役割を果たし成長する拠点☆

「儲かる農業」の実現に向け、先端技術によるスマート農業の普及とあわせ、輸出用米の生産拡大など需要に応じた米づくりを進めるとともに、園芸作物の導入による複合営農を推進し、販路拡大に取り組むことで産地の拡大を目指します。また、新潟駅周辺整備や新潟中央環状道路整備を着実に進めるなど、拠点性向上に向けた取り組みを推進します。

ニューフードバレーの推進

◇ 元気な農業応援事業	<しごと> 【拡充】	695,400 千円
◇ 園芸作物販路拡大の促進	<しごと>	2,300 千円
◇ 国家戦略特区制度の活用	<しごと>	105,222 千円
◇ ほ場整備の推進		152,219 千円
	【2月補正】	162,800 千円
◇ 農業用排水施設等の管理運営・長寿命化		488,075 千円
◇ 新規就農者確保・育成の促進	<しごと> 【拡充】	20,832 千円
◇ 農業応援隊受入の推進	<しごと>	1,000 千円
◇ 6次産業化・農商工連携の支援	<しごと>	5,400 千円
◇ 新潟市健幸づくり応援食品認定制度の運用		479 千円
◇ 農産物高付加価値化の推進		7,000 千円
◇ 農業活性化研究センター研究費		11,350 千円
◇ 食と花の世界フォーラム		33,123 千円
◇ スタートアップ企業と既存企業との協業促進、 起業家予備軍の育成	<しごと> 【拡充】	33,900 千円
◇ 食の商品開発支援（新潟IPC財団補助金の一部）		5,200 千円
◇ 食の商談・取引の支援（新潟IPC財団補助金の一部）	<しごと>	1,824 千円
◇ 新潟産品の輸出の促進		6,500 千円

【「儲かる農業」の実現に向けたその他の取り組み】

◇ 北区 次世代農業の普及	【新規】	1,500 千円
◇ 江南区 「農」に親しむ	【拡充】	2,470 千円
◇ 秋葉区 アキハもち麦推進	【拡充】	1,350 千円
◇ 南区 果樹 新規担い手等の支援	【新規】	3,000 千円
◇ 西区 特産農産物 魅力発信・ブランディング		3,600 千円
◇ 西蒲区 「にしかん なないろ野菜」 ブランド強化・販売拡大	【新規】	2,000 千円

環日本海ゲートウェイ機能の強化

◇ 新潟駅周辺地区の整備	<まち>	9,671,539 千円
	【2月補正】	4,580,000 千円
◇ 新潟空港の利用活性化促進		56,038 千円
◇ 新潟港の利用促進		2,500 千円
◇ クルーズ船の誘致推進		1,600 千円
◇ 万代島にぎわい空間の創造	<まち>	32,435 千円
◇ 新潟中央環状道路整備事業	<まち>	2,320,000 千円
	【2月補正】	238,000 千円
◇ 新潟産品の輸出の促進		6,500 千円

日本海側への機能移転の推進

◇ 製造・物流の企業立地への助成	<しごと> 【拡充】	529,000 千円
◇ 新たな工業用地の公共施設整備に係る支援		50,000 千円
◇ 本社機能施設立地促進事業補助金	<しごと>	5,000 千円
◇ 情報通信関連産業立地促進事業補助金	<しごと> 【拡充】	103,895 千円
◇ 地方創生テレワーク補助金	<しごと> 【新規・2月補正】	96,000 千円
◇ 企業誘致の推進	<しごと>	2,859 千円

防災・救援首都の機能強化

◇ 新潟駅周辺地区の整備	<まち>	9,671,539 千円
	【2月補正】	4,580,000 千円
◇ 新潟空港の整備負担金		307,100 千円
◇ 新潟空港の利用活性化促進		56,038 千円
◇ 新潟港の利用促進		2,500 千円
◇ 新潟中央環状道路整備事業	<まち>	2,320,000 千円
	【2月補正】	238,000 千円
◇ 国直轄事業負担金		1,300,000 千円
◇ 国県道の整備		1,683,730 千円
	【2月補正】	85,000 千円
◇ 道路・橋りょうの維持補修	<まち>	3,705,214 千円
	【2月補正】	129,000 千円

☆雇用が生まれ活力があふれる拠点☆

市内企業の新事業の展開やスタートアップ企業との協業を促進するとともに、デジタル化や、デジタル技術の利活用により、企業の付加価値や生産性の向上を目指します。また、新たな工業用地への企業誘致を進めるため、支援を拡大するほか、IT企業の誘致を強化するなど、多様で魅力ある雇用の場を創出します。

成長産業の育成

◇ DXプラットフォームの構築	<しごと> 【拡充】	15,500 千円
◇ 地域イノベーション推進センターの運営（新潟IPC財団）		12,041 千円
◇ 元気な農業応援事業	<しごと> 【拡充】	695,400 千円
◇ 国家戦略特区制度の活用	<しごと>	105,222 千円
◇ 新潟市健幸づくり応援食品認定制度の運用		479 千円
◇ 農産物高付加価値化の推進		7,000 千円
◇ 農業活性化研究センター研究費		11,350 千円
◇ 6次産業化・農商工連携の支援	<しごと>	5,400 千円
◇ 食の商品開発支援（新潟IPC財団補助金の一部）		5,200 千円
◇ 食の商談・取引の支援（新潟IPC財団補助金の一部）	<しごと>	1,824 千円

内発型産業の育成・創業支援

◇ 中小企業生産性向上設備投資補助金	〈しごと〉【拡充】	150,000 千円
◇ ITソリューション補助金	〈しごと〉【新規】	50,000 千円
◇ 中小企業の経営強化支援（新潟IPC財団補助金）	〈しごと〉	94,733 千円
◇ スタートアップ企業と既存企業との協業促進、 起業家予備軍の育成	〈しごと〉【拡充】	33,900 千円
◇ 企業間連携を促し新たな事業活動を創出	【新規】	120,000 千円
◇ 創業機運の醸成、コミュニティ形成の促進 （新潟IPC財団補助金の一部）	〈しごと〉	1,500 千円
◇ 中小企業の新事業展開への支援（新潟IPC財団補助金の一部）	〈しごと〉【拡充】	5,000 千円
◇ 中小企業開業資金（保証料補助・利子補給）		37,681 千円
◇ 創業時の賃料補助（店舗・オフィス）		9,633 千円
◇ 製造・物流の企業立地への助成	〈しごと〉【拡充】	529,000 千円
◇ 新たな工業用地の公共施設整備に係る支援		50,000 千円
◇ 本社機能施設立地促進事業補助金	〈しごと〉	5,000 千円
◇ 情報通信関連産業立地促進事業補助金	〈しごと〉【拡充】	103,895 千円
◇ 企業誘致の推進	〈しごと〉	2,859 千円
◇ 円滑な事業承継の支援（新潟IPC財団補助金の一部）	〈しごと〉	960 千円
◇ チャレンジショップの拡充	〈しごと〉【拡充】	16,081 千円
◇ 地域を支える商店街への支援	【拡充】	140,000 千円

☆魅力を活かした交流拠点☆

社会の変化を捉えつつ感染症対策を行いながら、マイクロツーリズムの推進や、オンラインの活用などによる「新しい観光スタイル」の構築を進め、観光マインドの向上や消費活性化を図ることで、本市の魅力と拠点性を活かした取り組みを展開します。

食と花の魅力の向上

◇ 食文化創造都市の推進	〈しごと〉	9,512 千円
◇ いくとびあ食花の管理運営		114,837 千円
◇ 新潟の食と花のPR事業		1,185 千円
◇ 農業応援隊受入の推進	〈しごと〉	1,000 千円
◇ 新潟産品の輸出の促進		6,500 千円

独自の魅力を活かした交流促進

◇ 文化活動再開に向けた支援		20,000 千円
◇ 文化芸術による共生社会の推進	〈しごと〉【拡充】	3,437 千円
◇ マンガ・アニメを活かしたまちづくり	〈しごと〉	11,856 千円
◇ 市民芸術文化会館事業補助金		155,000 千円
◇ 新津鉄道資料館の魅力創造	〈しごと〉	3,522 千円
◇ 古町花街の歴史的な街並みの保存	【拡充】	7,500 千円
◇ 魅力の発信・誘客の推進	〈しごと〉	16,525 千円

独自の魅力を活かした交流促進

【各区での取り組み】

◇ 北区 エンジョイスports事業	【新規】	1,500 千円
◇ 東区 産業のまち東区 魅力発信プロジェクト	【新規】	1,000 千円
◇ 中央区 地域のお宝！再発見		1,920 千円
◇ 江南区 「江南区をPR」魅力発信プロジェクト	【新規】	1,200 千円
◇ 秋葉区 秋葉「鉄道物語」	【新規】	3,370 千円
◇ 南区 新型コロナウイルス退散祈願！白根大凧合戦	【新規】	2,200 千円
◇ 西区 西区スポーツマイルプロジェクト		900 千円
◇ 西蒲区 マイクロツーリズム誘客キャンペーン	【新規】	1,520 千円

優れた拠点性を活かした広域的な交流人口の拡大

◇ 新しい観光スタイルの検討・推進	<しごと> 【拡充】	64,000 千円
◇ 都心のまちづくりの推進	<まち> 【新規】	17,000 千円
◇ 観光客おもてなし態勢の促進	<しごと>	5,500 千円
◇ 広域連携による誘客促進	<しごと>	12,492 千円
◇ 観光循環バスの運行	<しごと>	24,000 千円
◇ 古町芸妓の育成支援	<しごと>	4,000 千円
◇ 新潟空港の利用活性化促進		56,038 千円
◇ クルーズ船の誘致推進		1,600 千円
◇ アーツカウンシルによる文化芸術活動の活性化	<しごと>	30,506 千円
◇ 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の推進	<しごと>	123,630 千円
◇ 「目指そう、支えようパラリンピアン」障がい者スポーツの推進	<しごと>	1,700 千円
◇ ナショナルチーム合宿誘致の推進	<しごと>	1,500 千円

☆世界とつながる拠点☆

オンラインを活用し、姉妹都市・友好都市との交流拡大を図るなど、北東アジアの文化交流拠点都市としての役割を果たしていきます。

多文化共生の推進

◇ 多文化共生のまちづくり	<まち>	311 千円
---------------	------	--------

さまざまな分野での戦略的な国際交流の推進

◇ 姉妹・友好都市、交流協定都市との交流		3,127 千円
◇ 東アジア文化都市間の交流		4,257 千円
◇ 新潟産品の輸出の促進		6,500 千円

第2期

新潟市まち・ひと・しごと創生総合戦略

～ 将来にわたって活力ある 住みよいまち

暮らしたいまち 新潟を目指して～

第2期 新潟市まち・ひと・しごと創生総合戦略

～ 将来にわたって活力ある 住みよいまち 暮らしたいまち 新潟を目指して～

《主な事業を掲載しています》

(1) 「しごと」 新潟の強みを活かしたしごとをつくり、 稼ぐ力を高め地域経済を活性化させる

中小企業の経営力強化に向け、デジタル化など生産性向上に向けた取り組みを支援するとともに、製造・物流業やIT企業の企業誘致を強化するなど、多様で魅力ある雇用の場を創出します。

食や農といった本市の強みを活かし、フードテック・アグリテックをキーワードに市内企業の新事業の展開やスタートアップ企業との協業を促進するなど、起業・創業やイノベーション創出への取り組みを後押しします。

中小企業をはじめとした地域企業の経営力強化

【生産性向上に向けた支援】

◇ 中小企業生産性向上設備投資補助金	【拡充】	150,000 千円
◇ ITソリューション補助金	【新規】	50,000 千円
◇ 中小企業の経営強化支援（新潟IPC財団補助金）		94,733 千円
◇ 中小企業の新事業展開への支援（新潟IPC財団補助金の一部）	【拡充】	5,000 千円
◇ 食の商談・取引の支援（新潟IPC財団補助金の一部）		1,824 千円

【従業員の採用、雇用環境の改善】

◇ 働き方改革の推進		1,750 千円
◇ 働きがいのある新潟地域創造事業		500 千円
◇ 新規採用活動支援事業	【拡充】	46,000 千円
◇ 中小企業が行う社員教育の支援		40,000 千円
◇ 市内就労の促進		1,630 千円
◇ 企業参加型奨学金返済支援事業		3,000 千円
◇ 東京圏から移住・就業する方への支援		36,600 千円

新たなビジネスや成長産業の創出・育成

【創業・起業がしやすい環境整備】

◇ 創業機運の醸成、コミュニティ形成の促進 （新潟IPC財団補助金の一部）		1,500 千円
◇ 円滑な事業承継の支援（新潟IPC財団補助金の一部）		960 千円
◇ 中小企業の経営強化支援（新潟IPC財団補助金）		94,733 千円
◇ 古町地区の空き店舗活用への支援	【新規】	15,200 千円
◇ チャレンジショップの拡充	【拡充】	16,081 千円

【特色・強みを活かしたイノベーションの創出】

◇ スタートアップ企業と既存企業との協業促進、 起業家予備軍の育成	【拡充】	33,900 千円
◇ DXプラットフォームの構築	【拡充】	15,500 千円
◇ 中小企業の新事業展開への支援（新潟IPC財団補助金の一部）	【拡充】	5,000 千円

【戦略的な企業誘致の推進】

◇ 製造・物流の企業立地への助成	【拡充】	529,000 千円
◇ 企業誘致の推進		2,859 千円
◇ 地方創生テレワーク補助金	【新規・2月補正】	96,000 千円
◇ 情報通信関連産業立地促進事業補助金	【拡充】	103,895 千円
◇ 本社機能施設立地促進事業補助金		5,000 千円

豊富な田園資源を活かした儲かる農業の実現

【売れる米づくりと園芸産地づくりの推進】

◇ 元気な農業応援事業	【拡充】	695,400 千円
◇ 園芸作物販路拡大の促進		2,300 千円
◇ 新規就農者確保・育成の促進	【拡充】	20,832 千円

【農林水産業を活かした仕事づくり】

◇ 農・福連携の推進	1,998 千円
◇ 食文化創造都市の推進	9,512 千円
◇ 新潟発わくわく教育ファームの推進	21,872 千円
◇ 6次産業化・農工商連携の支援	5,400 千円
◇ 国家戦略特区制度の活用	105,222 千円

(2) 「しごと」 新潟への新しいひとの流れと交流を生み出す

企業の人材確保に向け、働きやすい職場づくりへの支援を行うほか、新規採用活動のオンライン化を進めるなど、若年者の市内就労を促進します。

社会の変化を捉えつつ感染症対策を行いながら、マイクロツーリズムの推進や、オンラインの活用などによる「新しい観光スタイル」の構築を進め、本市の魅力と拠点性を活かした取り組みを展開します。

多様な支援による定住の促進、関係人口の創出

【市内への就労促進】

◇ 市内就労の促進	1,630 千円
◇ 働きがいのある新潟地域創造事業	500 千円
◇ 企業参加型奨学金返済支援事業	3,000 千円
◇ 働き方改革の推進	1,750 千円
◇ 社員幸福度向上応援事業	4,100 千円

【「新潟暮らし創造運動」の推進による移住促進】

◇ 新潟暮らし創造運動の推進	12,471 千円
◇ 東京圏から移住・就業する方への支援	36,600 千円
◇ 空き家活用支援	29,200 千円
◇ 移住モデル地区定住促進住宅支援	1,442 千円

【関係人口の創出】

◇ サポーターズ倶楽部活動の促進	1,257 千円
◇ 新潟暮らし創造運動の推進	12,471 千円
◇ 農業応援隊受入の推進	1,000 千円

交流人口の回復・拡大

【来訪者へのおもてなし態勢の強化】

◇ 新しい観光スタイルの検討・推進	【拡充】	64,000 千円
◇ 観光客おもてなし態勢の促進		5,500 千円
◇ 観光循環バスの運行		24,000 千円
◇ 古町芸妓の育成支援		4,000 千円
◇ アーツカウンシルによる文化芸術活動の活性化		30,506 千円
◇ 文化芸術による共生社会の推進	【拡充】	3,437 千円
◇ 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の推進		123,630 千円
◇ 「目指そう、支えようパラリンピアン」障がい者スポーツの推進		1,700 千円

【新潟の個性・魅力と拠点性を活かした誘客の促進】

◇ 魅力の発信・誘客の推進	16,525 千円
◇ 広域連携による誘客促進	12,492 千円
◇ ナショナルチーム合宿誘致の推進	1,500 千円
◇ マンガ・アニメを活かしたまちづくり	11,856 千円
◇ 新津鉄道資料館の魅力創造	3,522 千円
◇ 食文化創造都市の推進	9,512 千円

(3) 「ひと」結婚・出産・子育ての希望をかなえる、新潟の将来を担う人材を育てる

地域や民間団体と連携し結婚を希望する男女の出会いの場を創出するほか、結婚に伴う新生活への支援を拡大するなど、地域を挙げて結婚を応援する機運醸成に取り組みます。また、産前産後での負担が特に大きい多胎妊産婦への支援を充実するとともに、こども医療費の対象を拡大し子育て世帯の負担軽減を図るほか、保育施設の整備を支援するなど、結婚・出産・子育てへの切れ目ない支援を行います。

結婚・出産・子育てへの切れ目ない支援

【結婚・妊娠・出産の支援】

◇ 出会い・結婚サポート事業	【新規】	1,000 千円
◇ 結婚新生活への支援	【拡充】	25,600 千円
◇ 妊娠・出産サポート体制の整備		15,096 千円
◇ 特定不妊治療・不育症治療費の助成	【拡充】	244,105 千円
◇ 産後ケア利用料の助成		8,440 千円
◇ 子育てワンストップサービス事業		3,150 千円

【子どもや子育て家庭への支援】

◇ 妊産婦及びこども医療費の助成	【拡充】	2,347,504 千円
◇ 多胎児支援	【拡充】	3,030 千円
◇ 私立保育園等建設費補助		635,155 千円
	【2月補正】	171,325 千円
◇ 病児・病後児保育	【拡充】	186,527 千円
◇ 保育士修学資金貸付等事業負担金	【新規】	2,407 千円
◇ 保育士宿舍借り上げ支援事業		14,100 千円
◇ 放課後児童の健全育成（放課後児童クラブ）		2,125,084 千円
◇ 就学援助費		931,412 千円
◇ 新潟市奨学金貸付制度		92,403 千円

【子育てに寄り添う地域・社会づくり】

◇ 地域子育て支援拠点の運営		348,668 千円
◇ ファミリー・サポート・センターの運営		10,880 千円
◇ にいがたっすこやかパスポート		790 千円

仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現

【働き方改革など職場環境の整備】

◇ 働き方改革の推進		1,750 千円
◇ 働きがいのある新潟地域創造事業		500 千円
◇ 社員幸福度向上応援事業		4,100 千円

【女性の職業生活における活躍の推進】

◇ 女性の活躍応援		800 千円
◇ 男性の家庭活躍推進	【拡充】	8,500 千円

これからの社会をたくましく生き抜く力の育成

【新潟で暮らす、働く魅力を知る機会の提供、地域への誇りと愛着の醸成】

◇ 地域と学校パートナーシップ事業		135,828 千円
◇ 新潟発わくわく教育ファームの推進		21,872 千円
◇ 新潟暮らし創造運動の推進		12,471 千円

【主体的・対話的に学び創造性を育む教育の推進】

◇ ICT支援員の配置	【新規】	96,000 千円
◇ アフタースクール学習支援		6,094 千円

【学・社・民の融合による教育の推進】

◇ コミュニティ・スクールの推進	【拡充】	3,300 千円
◇ 地域と学校パートナーシップ事業		135,828 千円
◇ 地域活動を担う人材の育成		360 千円

(4) 「まち」 誰もが安心して暮らせる持続可能なまち、
魅力あるまち新潟をつくる

「新潟都心の都市デザイン」の実現に向け、新潟駅、万代、古町をつなぐ「にいがた2km」を人・モノ・情報が行き交う都心エリアとし、そこで生まれた活力を市全体の活性化につなげていくため、駅周辺整備や都市再生緊急整備地域の指定に向けた取り組みを着実に進めます。誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、認知症の方や家族への支援体制を充実するなど、地域包括ケアシステムをさらに深化します。

多様な人々がつながりを持ち、いきいきと暮らせる地域社会の形成

【支え合い助け合う包括的支援体制の強化】

◇ 地域の茶の間の推進		36,401 千円
◇ 認知症地域支援コーディネーターの配置	【新規】	6,000 千円
◇ 認知症サポーターの養成		6,620 千円
◇ フレイル予防の推進	【拡充】	3,329 千円
◇ 介護人材の確保		3,632 千円

【生涯健康でいきいき暮らせる健康寿命の延伸】

◇ 健康寿命の延伸に向けた取り組み(地域課題に応じた取り組み、企業が自ら「健康経営®」に取り組むための支援)		20,874 千円
◇ 生活習慣病健診・各種がん検診		1,096,373 千円
◇ 健幸になれるまちづくりの推進		4,136 千円

【地域力の育成と安心な暮らしの確保】

◇ 地域防災力の育成		26,499 千円
◇ 地域活動補助金		109,000 千円
◇ 防犯カメラ整備補助金		12,500 千円
◇ 通学路等の交通安全の確保	【拡充】	16,000 千円
◇ 障がい者就業支援センターの運営		31,201 千円
◇ 多文化共生のまちづくり		311 千円

持続可能な都市経営

【都市のコンパクト化と交通ネットワークの形成】

◇ 空き家活用支援		29,200 千円
◇ 公共交通の利用促進		188,690 千円
◇ (仮称)上所駅の整備		20,000 千円
◇ 生活交通の確保維持・強化		385,407 千円
◇ 新潟中央環状道路整備事業		2,320,000 千円
	【2月補正】	238,000 千円

【スマートエネルギーの推進】

◇ 中小企業等再エネ100%目標設定補助金	【新規】	1,000 千円
◇ 地球温暖化対策の推進		286 千円

【持続可能な財産経営の推進】

◇ 財産経営推進計画の改定		16,119 千円
◇ 道路・橋りょうの維持補修		3,705,214 千円
	【2月補正】	129,000 千円
◇ 下水道施設の機能確保 (ストックマネジメントによる維持管理の実施)		6,247,107 千円

都市機能の充実と拠点性の向上

【「新潟都心の都市デザイン」の実現に向けた魅力的な都市づくり】

◇ 都市デザインの推進	【拡充】	19,000 千円
◇ 都心のまちづくりの推進	【新規】	17,000 千円
◇ 緑のまちなか空間創造	【拡充】	13,500 千円
◇ 都心軸・萬代橋周辺エリア賑わい空間の創造		1,717 千円
◇ 万代島にぎわい空間の創造		32,435 千円
◇ 新潟駅周辺地区の整備		9,671,539 千円
	【2月補正】	4,580,000 千円

【都市の活力を生み出す都市機能の充実】

◇ 都心部の戦略的な再開発促進（都市再生緊急整備地域事業）	【拡充】	6,500 千円
◇ 新潟駅周辺地区の整備		9,671,539 千円
	【2月補正】	4,580,000 千円
◇ 新潟駅交通ターミナル（仮称：バスタ新潟）の整備		23,333 千円
◇ 万代5丁目地区まちなか再生建築物等整備事業の推進		110,000 千円
◇ 新潟駅南口西地区まちなか再生建築物等整備事業の推進	【新規】	129,400 千円

5 区 予 算 の 概 要

区の予算について

本市は、分権型政令市の実現を目指した「大きな区役所」づくりに積極的に取り組んでいます。

予算においては、区役所が市民の皆様の声に迅速かつ柔軟に対応することができるよう、本庁の所管部署を通さず、直接区役所に配分する予算を充実させるとともに、区の企画による予算（「特色ある区づくり予算」）や区役所が本庁の所管部署に対して予算措置を求める制度（「区提案予算」）を設け、区における予算権限と責任を充実させています。

直接区役所に配分する予算

（単位：百万円）

項目	令和3年度	令和2年度	差引増△減
区政推進事業	791	666	125
地域施設の維持管理費	6,032	6,329	△ 297
地域のイベントなど	104	190	△ 86
市道、公園などの管理費	3,442	3,540	△ 98
生活道路、公園などの整備費	1,767	1,795	△ 28
小計	12,136	12,520	△ 384
総予算に比し	3.1%	3.2%	
地域施設の整備費	732	1,440	△ 708
合計	12,868	13,960	△ 1,092
総予算に比し	3.3%	3.6%	

※人件費を除きます。

特色ある区づくり予算

区自治協議会の協力のもと、区の伝統文化を育てる取り組みや自然風土を活かした取り組み、区民との協働による取り組みや区独自の課題解決に向けた取り組みなどを予算化していきます。

また、予算の一部について、自治協議会の提案を事業化することで、市民力と地域力をさらに引き出す施策を実施しています。

区提案予算制度

区役所が日常業務を通じて市民の皆様からいただいた声を市政に反映することができるよう、区役所が権限を持たない予算の分野についても本庁各課に対し予算提案ができる制度です。

北区 予算の概要	「自然・活力・安らぎにあふれるまち-住みたくなるまち 北区-」の実現に向け、魅力ある農業の確立や地域商業の活性化に取り組むとともに、子育て支援、介護予防や認知症予防など福祉の充実を図ります。また、北区の自然、伝統文化やスポーツ活動などの特長を活かし、北区の魅力を高める、地域との協働の取り組みを推進します。
-------------	---

	事業名・事業費(千円)	事業概要	
特色ある区づくり予算	豊かな自然と共生するまち		
	松浜海岸の自然環境保全と地域の魅力づくり 【新規】(2,300千円)	飛砂被害の軽減と暮らしやすい環境づくりのため、官民協働での植栽等を行います。	
	北区水辺環境の魅力発信 (2,000千円)	北区にある自然豊かな水辺の環境を保全するための仕組みを構築し、水辺が形成された歴史や、様々な動植物が生息している水辺の魅力を発信します。	
	地域協働で創る海辺の森 (3,900千円)	地元主体で行われる森林保全活動を支援するとともに、地域住民、大学、企業など、多様な連携によって行われる環境整備やコミュニティビジネスをサポートします。	
	活力ある産業のまち		
	次世代農業の普及 【新規】(1,500千円)	農産物のブランド化などを通じた「稼げる農業」の仕組みづくりに、農作業の省力化を可能とするICT技術のモデル実施など「次世代農業」への取り組みを支援します。	
	地域商業にぎわい創出プロジェクト 【拡充】(2,600千円)	地域商業活性化、賑わい創出のテーマをもとに、テーマに沿ったコンテンツ開発やPR展開を行い、地域への愛着形成及び継続した賑わいを創出します。また、コロナ禍での新たな活性化事業に取り組みます。	
	魅力発信キタクなるプロジェクト (3,000千円)	新型コロナウイルス収束後の交流人口拡大を目指し、市外・県外在住者に向けた広報を実施するほか、観光資源を整備して魅力を向上させ、新規観光客の開拓とリピーターの増加を図ります。	
	学びあい、健康で、人にやさしいまち		
	北区エンジョイスports事業 【新規】(1,500千円)	ウィズコロナの状況下でも区民が安心して参加できるスポーツ大会や体験会などを開催するほか、身近な場所での運動の普及を図ります。また、自然に親しみながら歩く、北区元旦歩こう会を開催します。	
	木崎村小作争議100周年 (1,500千円)	農民運動として全国的に有名な「木崎村小作争議」について、100周年を迎える令和4年度に予定する郷土博物館での企画展の開催などに向け、地主側などの資料所在調査や、指定文化財の修復に取り組みます。	
	北区子育ての応援 【拡充】(3,500千円)	市民向け・支援者向けの子育て支援講座や、親子で楽しめる子育てイベントの開催、北区子育て情報のLINE配信により、子育てを応援します。	
	北区もの忘れ検診 (800千円)	認知機能の低下が疑われる人を早期に発見し、適切な支援・サービスに繋げるため、北区の65歳以上の希望者に対して、国保の特定健康診査、後期高齢者健康診査を受診の際に、「もの忘れ検診」を実施します。	
	大学生による家庭介護セミナー (300千円)	高齢化や核家族化が進み、高齢者同士による介護が増加していることを受け、新潟医療福祉大学の学生を講師としたセミナーを開催することで介護に関する知識を学び、家族の介護に備えられるようにします。	
	地域「ひと・まち」パートナーシップ支援 (1,600千円)	新潟医療福祉大学から地域コミュニティ協議会や学校などへ、ひとづくり・まちづくりを連携・協働するタッグパートナーを派遣します。	
	安心安全で暮らしやすいまち		
	地域防犯力向上 【新規】(500千円)	地域で活動する自主防犯団体による意見交換会などを開催し、活動ノウハウや危険箇所などの情報共有により、活動の強化、防犯力向上を図ります。また劣化した不法投棄防止看板を改修することで治安維持を図ります。	
	地域防災ひとづくり (1,200千円)	防災士が地域で活躍するために必要な知識や技術のスキルアップ講習会や実習訓練を実施し、防災訓練の指導手引書を作成します。また、防災士による河川別洪水ハザードマップを作成します。	
	主な事業	葛塚コミュニティセンター移転改修 (414,600千円)	区役所の移転に伴い、旧区役所新館を葛塚コミュニティセンターと豊栄地区公民館の一部機能との複合施設として改修し、移転整備します。また、老朽化した旧区役所本館を解体します。

東区 予算の概要	人口減少、少子・超高齢社会への対応を最重要課題と捉え、地域コミュニティ協議会、区自治協議会をはじめ地元の企業や大学などと連携を深め、協働によるまちづくりを推進し心地よく暮らしやすい地域づくりを進めるとともに、地域の特色を生かした魅力の創出や活用に取り組むことで、人もまちも元気で笑顔があふれる東区を目指します。
---------------------	---

	事業名・事業費(千円)	事業概要
特色ある区づくり予算	心地よく暮らしやすいまち	
	地域の防災力向上 【拡充】(3,200千円)	「防災出前講座」の開催により、自然災害への備えや、避難の際の感染症対策を学んでもらうことで、地域防災力の向上を図ります。また、地域と小学生による「地域安全マップづくり」を支援し、子どもの防犯力向上を図るほか、防災・防犯・交通安全の各分野においてパネル展示による啓発を行います。
	避難所運営ワークショップ (1,400千円)	地域防災力向上のため、避難所運営のマニュアル整備が完了している避難所を対象としたシミュレーションを行い、今後の訓練に取り入れるなど、災害時における円滑な避難所運営の確立を目指します。
	ウェブでつながる マタニティ期からの子育て応援 【新規】(4,200千円)	妊娠期から父母双方に育児知識を得てもらい、知らないことによる虐待リスクの減少と出産後の不安感・孤立感の解消を図ります。講座や相談会は集合形式に加えて、新しい生活様式に対応したウェブによるリモート開催を行うとともに、CAPワークショップ等で子どもの虐待防止強化を図ります。
	地域と取り組む！ 高齢者見守り訪問・介護予防 【新規】(2,500千円)	第三者の目が届いていないと思われる高齢者を対象に、感染症対策を講じた見守り訪問を実施して生活の様子を確認し、状況に応じて必要なサービスへの誘導を図るとともに、高齢者全体の支援として、健康づくり・介護予防のため、小集団による教室を地域とともに実施します。
	みんなで見守ろう認知症！ おれんじネット(800千円)	認知症になっても安心して暮らせる地域づくりのため、感染症対策に留意しながら、認知症研修会、SOS検索模擬訓練等を実施し、認知症に対する理解を深め、地域で見守るネットワークづくりを推進します。
	歯っぴーすまいる プロジェクト(1,900千円)	子どものむし歯の改善に向け、こども食堂・放課後児童クラブ・保育園・幼稚園等と連携した歯と食育の健康づくりを行います。また、年間を通じた歯磨きの習慣化に取り組みます。
	美しい東区環境づくり (1,100千円)	区内一斉清掃や地域のボランティア清掃を通じて、まちの美化や環境保全意識の向上を図る取り組みを進め、「クリーン東区」のイメージ定着を図ります。
	魅力あふれるまち	
	産業のまち東区 魅力発信プロジェクト 【新規】(1,000千円)	東区の魅力発信と区民の誇りづくりのため、コロナ禍においても「産業のまち東区」をいつでも誰でも楽しめるように、公式インスタグラムを活用した継続的な情報発信に取り組みます。
東区プラザ開館10周年記念 東区歴史文化プロジェクト 【新規】(1,500千円)	東区プラザ開館10周年を記念し、東区のまんなかである区役所庁舎から文化を発信するとともに、東区の歴史の普及啓発活動に取り組みます。	
じゅんさい池みらいプロジェクト (3,500千円)	貴重な緑地環境を有し、観光資源でもある砂丘湖のじゅんさい池を未来につなぐため、自然環境を活かした憩いの空間づくりに努めます。また、地域住民や有識者の意見を踏まえ、環境保全や活用方法を検討し「(仮)じゅんさい池みらいプラン」を策定するとともに、更なる魅力発信に取り組みます。	

中央区 予算の概要	「歴史と文化の薫りただよう、うるおいとにぎわいのまち」を目指し、中央区の魅力を活かした、まちなかの活性化を推進する取り組みや、子育て・高齢者・防災などに関する取り組みを地域と連携・協働しながら行います。
--------------	---

	事業名・事業費(千円)	事業概要
特色ある区づくり予算	安心してすこやかに暮らせるまち	
	しもまち地域の活性化 (1,700千円)	「はじめてしもまちプロジェクト」としてこれまで発掘してきた「しもまち地域」の知られざる魅力を、若い世代がより魅力を感じられるよう編集・発信することで、人の交流・流入の定着を図ります。
	レッツトライ！ 糖尿病予防の推進 (1,628千円)	区の健康課題である糖尿病を改善するため、コミ協や地域の茶の間など地域団体向けに糖尿病の正しい知識や予防方法などの講座を開催します。また、ホームページでの動画配信など情報発信を強化します。
	みんなでつながる にっこにこ子育ての応援 (5,230千円)	妊娠期から子育て期まで、保健師・助産師等の専門職による切れ目のない支援を関係機関と連携、協働して行います。また、新たにオンラインによる妊婦個別相談を実施します。
	赤ちゃん誕生お祝い会の支援 (520千円)	赤ちゃん誕生を機に、子育て中のママ・パパ同士だけでなく、地域住民との交流を深め、地域全体での子育て支援や多世代交流を図るため、「赤ちゃん誕生お祝い会」の開催を支援します。
	話そう・つながろう・あなたの想い 終活きっかけ作り (1,102千円)	独居や身寄りのない高齢者をはじめ、誰もが人生の最終段階における医療やケアについて、元気な時から考え、家族や知人と話し合い、思いを共有しておくことの大切さを関係機関と連携して周知します。
	防災人材育成・地域づくりへの支援 (4,800千円)	災害に強いまちづくりを促進するため、避難所運営にかかる講習会等を開催するほか、防災資機材や保管庫の整備に対する助成を行います。また、避難行動要支援者を地域で助け合う体制づくりを進めるとともに、地域による津波自主避難マップ作成を支援し、防災意識の醸成を図ります。
	犯罪のない地域づくり (740千円)	特殊詐欺への注意を喚起するため、警察署等と連携した街頭啓発活動や、被害の多い高齢者宅への協力事業者による訪問啓発を実施し、被害防止を呼びかけます。
	水と緑が調和したやすらぎのあるまち	
	鳥屋野潟の環境啓発 「とやの物語」 (3,300千円)	鳥屋野潟の認知度と環境意識を高め、広く市民等の取り組みを促し、都市と自然豊かな水辺が共生するまちづくりを推進するため、出前講座や映像教材作成等の環境啓発事業を行います。
区民協働森づくりの推進 (5,560千円)	防風対策を図るため、新潟島の海岸林の必要性・重要性を周知するほか、海浜植物園周辺に、松くい虫に抵抗性のあるクロマツの植樹と成育した松の密度管理（除伐）を行います。	
未来につなぐ歴史・文化のまち		
地域のお宝！再発見 (1,920千円)	中央区の地域資源に対し、市民（特に区民）が関心を高め、誇りや愛着を持てるよう、新潟シティガイドによる解説付きまち歩き（えんでこ）の実施や、SNSなどを活用した区民自らが地域の魅力を発信する企画を行います。	
みなとまち新潟 伝統的産業PR (3,300千円)	中央区の伝統的産品である「新潟漆器」や「発酵食」、新潟湊の繁栄を象徴する「古町芸妓」の魅力を再発見してもらい、次世代への普及を促進するとともに、これらの産業の振興を図ります。	
主な事業	松くい虫の防除 (35,600千円)	松くい虫による松枯れ被害を収束させるため、被害木の伐倒駆除及び植栽などを行います。
	山潟地域コミュニティ施設の整備 【新規】 (500千円)	本市設置のコミュニティ施設がない山潟中学校区内に、新たに同施設の整備を行うため、基本構想を策定します。

江南区 予算の概要	都市的なたたずまいと緑豊かな田園・自然がバランスよく共存している地域特性や、地域が持つ宝、地域資源を活かすことでまちの魅力・活力を向上させるとともに、区民の安心安全で健康な生活をすることで「緑と調和した、賑わいと安らぎのあるまち」を目指します。
----------------------	--

	事業名・事業費(千円)	事業概要	
特色ある区づくり予算	豊かな自然と都市機能の調和が取れたまち		
	江南区未来づくりプロジェクト (900千円)	豊かな田園・自然環境や、充実した商工業、良質な住宅地、交通網など、区の強みを最大限活用するための方策について、「雇用創出」「居住促進」「交通環境」などの視点や、江南区まちづくり協議会からの提言を踏まえ、今後のまちづくりの方向性をあらかじめ整理し、検討・実践することで、都市機能の充実を図ります。	
	みんなで語り、考える 使いやすい公共交通 (700千円)	区バス・住民バスなど、それぞれの運行主体がさらなる連携を図ることで、区民がより使いやすい公共交通の実現につなげます。	
	(仮称)小阿賀野川フィッシング大会 (200千円)	小阿賀野川などの水辺空間を活用するため、地元との協働によるフィッシング大会を開催し、区の新たな魅力の創出と交流人口の増加につなげます。	
	いい汗 いい食 江南健幸ライド (1,500千円)	小阿賀野川など水と緑のネットワークを形成する資源を活用し、整備したサイクリングロードの利用促進に取り組むため、区の名所を自転車で周遊し、協賛企業が提供する地元の食などが楽しめるサイクリングイベントを開催することで、健康づくりの推進や交流人口の拡大を図ります。	
	人と人のつながりを大切にする安心安全なまち		
	江南区安心・安全な地域づくりの推進 (2,700千円)	「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識の醸成や防災・防犯・交通安全の分野における地域力の強化を図ることで、安心安全な地域づくりを推進します。	
	地域で見守り応援事業 ～見守る目、見守る心～ 【拡充】(990千円)	地域の中で、認知症高齢者を支援したい人、子育てを応援したい人を掘り起こし、地域全体で認知症高齢者や子育てを見守ることで、高齢者や子育て世代を支え、安心して暮らせる地域を実現します。	
	江南区ふれあい・ささえあい プランの推進 【拡充】(3,490千円)	各種団体と協働して、交流事業や福祉大会の開催により多世代交流を図るとともに、区内の地域福祉を推進し、江南区地域福祉計画の基本理念「みんなでささえあい安心して暮らせるまち江南区」の実現を目指します。	
	創造的な産業を育む活力のあるまち		
	「農」に親しむ 【拡充】(2,470千円)	市街地周辺に農地が近接し、豊かな農産物を身近に感じることができる江南区の特性を活かし、区民がより「農」に親しむことで、地元生産者や農産物への理解を深めるとともに、更なる地産地消の推進を図ります。	
	地域ブランド「亀田縞」の 販路拡大 (2,000千円)	これまでブランド力の強化に取り組んできた「亀田縞」を、改めて日常的に目にする機会を創り出し、地域での内需拡大と多様な用途に向けた検討を進めることで、地元での更なる浸透を図ります。	
	「江南区をPR」魅力発信 プロジェクト 【新規】(1,200千円)	新型コロナウイルスの影響により地方への回帰傾向が高まる中で、区民だけでなく、首都圏などの学生や子育て世代に江南区の住みやすさや魅力を発信することで、江南区への移住促進を図ります。	
	江南区ぐるっと巡って発見・体験 ツアー (1,400千円)	固有の文化や伝統を有する江南区において、観光資源を発掘、深掘りし、その魅力を発信・提案することで、関係人口の拡大を図ります。	
	地域商業活性化支援 【拡充】(2,500千円)	地域の多様な団体とともに、拠点商業地である亀田本町商店街周辺の地域商業活性化の取り組みを支援し、賑わいの創出を図ります。また、商工団体等と連携し、区全体の商業活性化に向けた取り組みを行います。	
	未来に向けて人が輝き文化が育まれるまち		
	北方文化博物館を活用した 文化発信 【新規】(1,700千円)	国登録有形文化財である県下最大級の豪農の館「北方文化博物館」を舞台に、地域が誇る伝統・文化に触れる機会を提供することで、江南区に対する愛着の向上を図ります。	
	文化芸術の創造・発信 (2,250千円)	区の文化芸術の発信拠点である江南区文化会館において、質の高い文化芸術作品を区民に提供し、文化の創造と振興を図ります。	
	主な事業	曾野木地区市営住宅跡地等施設の整備 (217,000千円)	江南区曾野木地区市営住宅跡地において、地域住民のさらなる活動の充実を目的に、民間活力を最大限活用し、コミュニティ拠点施設及び近隣保育園2園の統合を軸とする施設整備を進めます。

秋葉区 予算の概要	「里山・歴史・食・花・川・鉄道」といった区の魅力にさらに磨きをかけ、交流人口の拡大や、移住・定住のための仕組み作りを行います。また障がい者や高齢者の支援、子育てサポートの充実により「花と緑に囲まれた、笑顔咲きそろう、にぎわいのあるまち」を目指します。
--------------	---

	事業名・事業費(千円)	事業概要
特色ある区づくり予算	うるおいとやすらぎのあるまち	
	優歩道歩いてみ隊 (2,500千円)	自然散策や健康づくりに利用され、多くの区民から親しまれている新津川や能代川沿い及び秋葉公園などの遊歩道をより使いやすくし魅力向上を図るとともに、区民協働による環境保全に取り組みます。
	楽しく元気なまちなかやさしさのあるまち	
	アキハで認知症サポートネット (650千円)	区民への認知症に関する知識の普及・啓発を行うとともに、区内の関係機関との連携をすすめて、認知症高齢者等やその家族にやさしい秋葉区を目指します。
	「つながる」「つなげる」 障がい者支援 (690千円)	障がい者への適切な支援に必要な情報を共有する仕組みづくりと保護者支援を推進します。また、授産製品の周知・販売に関する支援を行い、障がい者への理解促進を図ります。
	地域ぐるみでフレイル予防 (900千円)	心身の加齢変化が大きくなる高齢期に、フレイル（適切な対応をすれば回復可能な虚弱な状態）を予防し、健康寿命延伸を図るため、身近な地域で住民が支え合いながら予防活動を継続できるよう支援します。
	アキハで子育てサポート (4,550千円)	育児に関する様々な事業を実施することにより、子育ての不安感や孤立感を軽減し、地域で安心して子育てできるようサポートします。
	歴史と個性を活かすまち	
	秋葉「鉄道物語」 【新規】(3,370千円)	新津の鉄道に関する施設、歴史、人材などの地域資源（宝）を、商店街、地域住民、子どもたちとともに活用し、「鉄道の街」への愛着と誇りを育みながら、まちなか活性化と交流人口の増加を図ります。
	文化遺産の情報発信 【拡充】(1,000千円)	秋葉区の歴史や文化遺産に対する市民の理解を深めるため、区内の文化遺産の情報を区内外へ発信します。また、秋葉区のさらなる活性化にもつながるよう、それらの魅力を活用します。
	アキハの宝子ども探検ツアー (350千円)	緑豊かな里山や歴史ある文化遺産など秋葉区独自の宝（個性）を地域や団体と連携し、子どもたちの発見、体験の場として活用することにより、子どもたちのふるさとへの愛着と誇りを醸成します。
	アキハスンプロジェクト Vol.2 (2,700千円)	地域主体によるまちづくり推進のため、里山をはじめとした秋葉区の特徴・魅力のブランド化及び発信によるシビックプライドの醸成、市民活動に取り組む新たな人財の発掘・育成・活用、移住・定住の仕組みづくりに取り組みます。
	花のまち・食のまち・育てるまち	
	花が迎えるまちづくり (1,500千円)	R403号フラワーロードを美しい季節の花・宿根草等で彩り、緑を大切にすることを育むとともに、「花のまち」秋葉区を区内外に広くアピールします。
	アキハ花一番PR (3,670千円)	秋葉区から北海道や広島など遠方市場に出荷される、鉢花の安定流通に向けた輸送支援社会実験を行い、全国に出荷される鉢花全体価格の底上げにつなげます。また、秋葉区産鉢花の展示PRを行います。
	稲架木で地域農業活性化の推進 (700千円)	満願寺稲架木並木を活用した昔ながらの米づくりを体験する機会を設け、農業や食への関心を高め、将来に渡って秋葉区に愛着を持って農業者を応援したくなるきっかけを作り、地域農業の活性化を図ります。
	生み出し活かすまち	
	アキハもち麦推進 【拡充】(1,350千円)	機能性に注目が集まる健康食「もち麦」を地域ブランドに発展させることを目指し、農業振興及び販売・消費拡大等に必要の支援を行います。
	社会起業家発掘・養成 (500千円)	新型コロナウイルス感染拡大により社会変化が生じる中、秋葉区から世界に通用する人材を育成するため、区内の子供たちを対象に経済団体や大学などと連携し「プログラミング講座」を実施します。

南区 予算の概要	「大地の恵みと伝統・文化にはくくまれた郷土愛にあふれる、いきいきと暮らせるまち」を目指し、南区の魅力の向上と発信に取り組みます。また、区民や地域団体との協働や学校との連携により、賑わいの創出を図るとともに、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めます。
-------------	---

	事業名・事業費(千円)	事業概要
特色ある区づくり予算	誰もが快適に移動できる交通の利便性が高いまち	
	南区未来創生事業 【新規】(1,700千円)	にいがた南区創生会議発案の「未来ビジョン」を具体化するため、区外の観光資源と組み合わせた観光プランや交通体系の構築を進めます。
	ひととひとがふれあい、安心していつまでも暮らせるまち	
	地域と取り組む防災 (2,000千円)	災害時に自助・共助による安心安全なまちづくりを進めるため、地域防災の担い手育成の一環として、中学生・高校生防災教室を行うとともに、南区防災セミナー等の開催により、地域住民への防災啓発を行います。
	健康づくりの推進 (2,100千円)	健康寿命の延伸をめざし、特定健診受診率向上と継続受診の定着を図るほか、生活習慣病予防についての講座や幼児を対象とした食育講座を実施し、区民の健康づくりを推進します。また、在宅医療をテーマとした講演会を実施し、在宅医療推進の環境づくりを進めます。
	みんなで子育てネットワーク (1,600千円)	子育て中の保護者の孤立解消や負担感を軽減し、安心して子育てできるよう、地域住民からなる子育て支援リーダーとともに、子育て広場の開設や親子で参加できる交流会の開催、子育て支援プログラムを実施し、子育て支援を行います。
	白根高校とのまちづくり連携 (700千円)	区内唯一の高等学校である県立白根高校との連携を深め、地域とのネットワークづくりを推進するとともに、まちづくりに資する人材育成を図ります。
	未来創造教室 (3,200千円)	南区の小中学校の実情に合った地域学習を推進し、将来自分の地域とのかかわりを見つめ直す学びの場を提供することで、郷土を愛する心とこれからの社会を生き抜く力を育成し、学・社・民の融合による人づくり、地域づくり、学校づくりに貢献します。
	農商工の連携が、新たな活力を生み出すまち	
	果樹 新規担い手等の支援 【新規】(3,000千円)	農家数・樹園地面積ともに減少が続いている南区の果樹農家の現状に対応するため、新たに果樹担い手を目指す方へ支援を行います。また、果樹農業の魅力向上を図るため、果樹のPRを強化します。
	大風が舞い、獅子が跳ね、ルレクチエが実るまち	
	新型コロナウイルス退散祈願！ 白根大風合戦 【新規】(2,200千円)	新型コロナウイルス感染症の影響で昨年度は中止となった白根大風合戦の2年ぶりの開催を、復活大風やリアルタイムの映像配信などにより盛り上げます。
	南区おもてなし力 向上プロジェクト (2,000千円)	区内のまち歩きボランティアガイドの養成支援を行い、スマホで視聴できるまち歩きスポットの紹介映像を制作します。また、地元高校生や観光協会等と連携して観光コンテンツを磨きあげ、おもてなし力の向上を図ります。
	未来につなぐ文化プロジェクト 【新規】(3,500千円)	地元コミ協と連携したイベント等を実施し、旧笹川家住宅の魅力をもPRします。また、大風を擬人化したキャラクターである「凧っこ13人衆」のイラストを活用し、南区のイメージアップを図ります。角兵衛獅子の担い手育成のため映像を作成し、伝統文化を未来へとつなげます。
	主な事業	地域おこし協力隊を活用した地域の活性化 (4,420千円)

西区 予算の概要	豊かな自然環境、高度な学術機関が多くある西区の特性を活かし、地域との協働を軸に、大学とも連携し、健康寿命の延伸をはじめ、高齢者・子育て支援や防災、西区特産農産物のPRや環境の保全などに取り組み、すべての区民が安心して心豊かに暮らせるまちづくりを進めます。
---------------------	---

	事業名・事業費(千円)	事業概要
特色ある区づくり予算	人と人がつながり、安心安全に暮らせるまち	
	西区健活チャレンジ (895千円)	健康寿命の延伸や、新型コロナウイルス対策としての「新しい生活様式」の定着に向けて、地域の身近なところで区民の健康づくりを支援するとともに、地域健康応援隊の育成により、日常生活の中での健康に関する情報の発信充実と意識の向上を図ります。
	支え合いのまちづくり支援 (3,340千円)	支え合いに関する研修会を開催するほか、コロナ禍におけるつながりづくりのためのモデル事業を実施します。また、一人暮らしの後期高齢者を訪問し必要な支援につなげます。加えて小中学生認知症サポーター養成講座の開催や、農福連携による障がい者自立支援・就労支援を行い、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるまちづくりを進めます。
	西区の子育て応援 (4,000千円)	子育てを支援する各種プログラムを実施するほか、子育て情報をSNS(LINE)により配信し、育児の不安や孤独感の軽減、仲間づくりを支援するとともに、虐待の未然予防を図ります。加えて、子育て支援関係者の交流を通じ、ネットワークの充実を図ります。
	西区安心安全な地域づくり推進 (4,800千円)	地域防災力強化のため、避難マップ作成や避難所の運営などの地域の自主的な取り組みを支援します。また、中学1年生を対象とした自転車安全運転講習会や高齢者を対象とした安全運転指導により、交通安全を進めるほか、防犯の啓発にも取り組みます。
	西区NEWスタイルウォーキング【新規】 (4,015千円)	コロナ禍においても安心して健康づくりが進められるよう、ウォーキングの基本や注意点をまとめたDVDを作成し、個人で気軽に学べる機会をつくるとともに、区内の遊歩道に距離標を設置し、実践の環境整備と意欲向上を図ります。また、区民がウォーキングの楽しさを実感でき、習慣化につながるようウォーキングイベントを開催します。
	都市と農村が融合するまち	
	西区特産農産物 魅力発信・ブランディング (3,600千円)	西区の特産農産物の魅力をマスメディアやSNSなどを活用して県内外に発信し、ブランド化を進めるとともに、販路と消費の拡大を推進します。また、農商工連携により、国のGI登録産品の「くろさき茶豆」や、食と花の銘産品の新潟砂丘さつまいも「いもジェンヌ」の高付加価値化に取り組みます。
	「食×農」体験プログラム実施 (1,900千円)	区内の小中学校と連携し、児童が地場農産物や農業を学び体験する機会を提供することで、子どもたちへの食育と地場農産物の消費拡大を推進します。また、農を学ぶ場として農業体験教室、農家との交流の場として収穫ランドを開催し、農への理解を深めます。
	だれもが学び合える学術と文化のまち	
	西区スポーツマイル プロジェクト (900千円)	区民の継続したスポーツ・運動の習慣化に向けたきっかけづくりを提供するとともに、多くの人からスポーツ・運動の楽しさや喜びを感じてもらい、夢や希望を育む支援に繋げるほか、区民の交流機会を創出し、笑顔に満ち溢れた西区を目指します。
	豊かな自然と快適な住環境を大切にするまち	
	きれいなまちづくりサポート (1,350千円)	ごみのない、きれいなまちづくりを推進するため、地域と連携して西区の環境美化活動に取り組みます。また、子どもたちの環境保全への関心と意識を育みます。
	西区「農地と保安林」 機能維持・向上 (300千円)	西区で課題となっている耕作放棄地が発生しないよう、耕作放棄地未然防止対策に取り組みます。また、海岸保安林の環境整備を図るとともに、保安林整備ボランティア団体の継続的な活動や団体の育成・強化に向けた支援を行います。
	西区を堪能 まち歩き・観光ツアー (1,500千円)	区内に点在する魅力ある自然景観や史跡に加え、地域の歴史や文化を取り入れた観光コースを企画造成し、身近な地域でのまち歩きや観光ツアーなどの「マイクロツーリズム」により、地域の魅力の再発見と交流人口の拡大を図ります。
	地域と区役所が共に歩むまち	
	出勤！西区地域盛り上げ隊 (中学生みらいデザイン編) (500千円)	次代を担う子どもたちが、地域をより良く知り、関心を高めることを目的に、地域の課題解決の方法を、地域の方と共に考えるワークショップを開催します。また、家族等と話し合う機会を設け、幅広い世代の区民から地域に目を向けてもらう契機とします。
	西区のくらし・魅力発信 (1,400千円)	若者の就職を契機とした県外転出を抑制するために、区内大学と連携し「西区の住みやすさ」を大学生に発信します。また、西区かがやき大使が区の魅力を発信することで、区民の一体感を醸成します。

西蒲区 予算の概要	西蒲区の魅力である「食・農業」と「観光」を活用し区内外に発信するとともに、健康寿命の延伸や子育て支援、地域防災力の向上に努め、交流人口の拡大と地域の活性化を図り、人と人があたたかにつながるまちづくりを進めます。
----------------------	---

	事業名・事業費(千円)	事業概要	
特色ある区づくり予算	魅力あふれる農水産物を供給するまち		
	「にしかん なないろ野菜」ブランド強化・販売拡大【新規】(2,000千円)	新たな産地づくりプロジェクトにおいてブランド化及び産地確立を進めてきた「にしかん なないろ野菜」を西蒲区はもとより、他区や周辺市町村などの飲食店等へも販路拡大し、産地としての地盤を強固なものとするため取り組みます。	
	にしかん未来につながる持続可能な農業の推進【新規】(510千円)	西蒲区農業振興協議会内に「にしかん未来につながる持続可能な農業推進部会」を立ち上げ、地域のGAP認証取得者の農業活動改善に向けた様々な経験や幅広い知見などを情報共有し、未来につながる持続可能な農業の生産体制づくりの強化に取り組みます。	
	産地を守る農業生産被害防止対策【新規】(1,700千円)	近年発生している野生動物による農産物被害などに対応するため、専門業者による集落環境診断や勉強会を行い具体的な対策を実施することで、農作物の被害防止や農業従事者の安全性の確保に取り組みます。	
	観光とレクリエーションのまち		
	にしかん観光誘客促進(4,950千円)	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、著しく落ち込んだ観光需要を取り戻すため、感染症収束後を見据えた県外・海外からの誘客促進を図ることにより、「観光地西蒲区」の再興を目指します。	
	西蒲映画の活用(2,800千円)	区の観光資源、農産物、食文化、人情などの魅力を題材として制作した西蒲映画3部作を、インターネットや各地のイベント、映画館等で上映し、西蒲区の魅力を広く伝え、交流人口の拡大や移住者の増加につなげます。	
	マイクロツーリズム誘客キャンペーン【新規】(1,520千円)	新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、「マイクロツーリズム」を観光誘客の主要な取り組みの一つと位置付け、県内及び隣県において西蒲区の観光地の知名度を向上させ、近県からの誘客促進を図ります。	
	「矢垂の郷」賑わいづくりプロジェクト【新規】(1,000千円)	新たな観光誘客スポットとして整備している「矢垂の郷」の継続的な維持や、知名度向上による交流促進を目指したイベント開催に向け、地域ボランティア組織の育成を図ります。	
	にしかん健康プロジェクト(2,500千円)	健康寿命の延伸に向け、子どもからお年寄りまで健康意識を向上させるため「栄養」「体操」「お口の健康」の大切さを地域に普及する活動やウォーキングの習慣化に取り組みます。	
	にしかんスポーツサポート(680千円)	スポーツを通じた健康づくり、スポーツ活動の活性化を図るため、ランニング教室を開催するなど、スポーツに親しむ機会の提供と支援を行います。	
	人の和でつながる安心・安全なあたたかいまち		
	にしかん地域防災共育(2,300千円)	「減災」の考え方を基本とし、「地域と共に育む自助・共助」をテーマに、市内で最も高齢化が進んでいる西蒲区の課題を見据えた地域防災教育の推進と、継続的かつ効果的な地域の防災活動への支援を行います。	
	にしかん未来デザインプロジェクト【新規】(500千円)	人口減少社会に対応し、区の課題解決を加速させるための効果的なアクションプランの実施に向け、関係人口に関する市場調査やワークショップなどを行うとともに、未来に向けたまちづくりを担うキーマンの発掘とネットワークづくりに取り組みます。	
	西蒲区こども環境プロジェクト(850千円)	西蒲区の豊かな自然環境を未来の子どもたちに残すため、子どもたちを対象に、環境とリサイクルへの関心・意識を育む取り組みを行います。	
	ふれあい、支えあう子育て支援(2,000千円)	子育てへの不安や孤立感を軽減し、安心して子どもを産み育て、子育てを楽しむことができる環境づくりを進めるほか、乳幼児とのふれあいを通して心を育み、子どもの健やかな育ちを支援します。	
	地域いきいきながいきサポート【新規】(2,690千円)	誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、地域の茶の間、医療機関、地域包括支援センター等と連携し、認知症予防事業などを展開し、地域包括ケアシステムを構築します。	
	主な事業	にしかん観光周遊バス試験運行(3,000千円)	区内の観光施設と隣接する弥彦村との周遊性を向上するため、角田山麓・岩室温泉・彌彦神社などの魅力あふれる観光資源を巡る周遊バスを運行します。

令和3年度 区自治協議会 提案事業（概要）

複雑・多様化する地域課題に対応し、市民力・地域力を活かしたまちづくりを進めるため、区自治協議会の提案をその主体的な取り組みのもとに事業化します。

※ 現時点でのものであり、今後変更となる場合があります。

区	事業名	事業概要
北区	めざせ防災力向上！ (900千円)	災害に備え、防災に関する基礎知識やコロナ禍における手法を学ぶ講座などを企画し実施します。また、幅広い世代に関心を持ってもらえるような工夫を施し、地域全体の防災意識の向上を図ります。
	「あったか言葉」っていいね (900千円)	家族へ、友達へ、恋人へ、地域の人へ、など様々な対象に対する思いやりのある言葉「あったか言葉」を幅広い世代に募集します。また、その言葉を様々な方法で発信・啓発していくことで、区内に広げ、思いやり、支え合える関係づくり、地域づくりに繋がります。
	北区 自然の魅力発信 (1,000千円)	潟や桜など地域の自然の魅力を発信します。潟については、福島潟の魅力PR動画を制作するほか、十二潟、内沼潟、ひょうたん池の魅力発信などにも取り組みます。また、桜をはじめとした北区の自然を見つめ直し、パンフレットや写真入りカレンダーの製作などを通して、それらの魅力を区内外へ広く発信します。
東区	地域課題の解決に向けた調査研究 (2,400千円)	区民と協働し、東区の地域課題の解決やまちの活性化に取り組みます。3つある専門部会で、以下の担当分野を中心として、次年度の事業実施を見据え、必要な調査研究等を行います。 ① 市民協働・防犯・防災 ② 福祉・教育・文化 ③ 公共交通・産業・観光
中央区	身近な課題から広げる 協働のまちづくり 調査・研究 (1,500千円)	区自治協議会が地域の課題解決や活性化につながる取り組みを提案し、深掘り調査や効果検証するためのモデル事業などを実施します。4月からの次期自治協委員で構成する4つの専門部会ごとに、身近な課題を洗い出し、取り組むテーマを決め、課題解決に向けた調査・研究などを行います。
江南区	江南区モビリティプロジェクト (1,000千円)	区内公共交通の現状や様々な移動手段について調査・研究を行うことで、地域に則した交通体系の検討を支援します。
	多世代交流“みらい”プロジェクト (1,000千円)	子どもから高齢者まで、多世代が交流する事業を検討・実践することで、コミュニティの維持・向上と、暮らしやすい“みらい”の地域づくりにつなげます。
	誰でも安心して安全に暮らせる まちづくりプロジェクト (1,000千円)	江南区に住む子どもから高齢者まで、すべての人々が安心して暮らせるように、防犯、防災、交通安全、福祉などを重点に地域での啓発活動を通じ、安心安全・防災意識の向上を図ります。
	地域課題解決サポートプロジェクト (2,000千円)	人口減少対策に向けた各地域でのワークショップの結果を踏まえ、地域の課題解決やコミュニティの維持・向上につながる地域主体の取り組みを支援します。

秋葉区	きらめきサポートプロジェクト (1,230千円)	「きらめく」秋葉区に向けて、区自治協議会が地域の課題解決につながる事業を広く募集し協働することで、地域の人財を発掘し、取り組みが進化するようサポートを行います。
	秋葉区区民幸福度調査 (800千円)	秋葉区在住者（中学生以上）を対象に幸福度に関するアンケート調査を実施し、幸せを感じられるまちづくりのための課題を明確化するとともに秋葉区に住む幸せを数値化して内外に発信します。
	公共交通利用促進 (300千円)	区内の公共交通情報を発信し、利用促進を図るため、区バス・住民バス及び区内を運行する路線バスのルート・ダイヤや、新津駅を発着する電車の時刻表等を掲載したガイドを作成・発行します。
	アキハおとな大学 (612千円)	秋葉区の様々な魅力を区民に再認識し学んでもらうことで、秋葉区への愛着形成と主体的に活動する人財の育成を行うとともに情報発信を行います。
	ひな・お宝めぐり (800千円)	秋葉区の新春行事として区民協働により吊るし雛飾りの制作や展示を行い、区内はもとより区外からの人の流れを生み出し活性化に繋げていきます。
	コミュニティFMを活用した自治協議会PR事業 (828千円)	区自治協議会の認知度向上及び区の魅力発信のため、秋葉区ならではのコミュニティFMを活用し、委員自ら番組やCMの制作に関わり広報活動を行います。
南区	南区公共交通のPR 南区防災の啓発 (1,250千円)	南区の公共交通の利用啓発を図り、利用者数の増加につなげるため、情報紙などの作成や区バス・乗合タクシーの利用のきっかけづくりとなる取り組みを行います。また、安心・安全で住みよいまちづくりにつなげるため、防災に係る啓発活動等を行います。
	南区「家族ふれ愛月間」 南区出会いの場づくり (1,250千円)	家族の繋がりを大切に、温かい家庭を育むことを目的とした「家族ふれ愛月間」のさらなる定着及び拡充を図るため、講演会や絵画・川柳展を開催します。また、少子化対策、晩婚化・未婚化対策、定住の促進を目的として、独身の男女を対象に出会いの場づくりイベントを開催します。
	南区の魅力発信 南区スポーツ交流 (1,000千円)	重要文化財旧笹川家住宅などの文化資源の掘り起しにより、南区の魅力を区内外に発信します。また、区民のさらなる交流を目的としたスポーツイベントを開催します。
	南区まちづくり活動のサポート (2,500千円)	区内のコミュニティ協議会など地域活動団体から、地域の課題解決につながる事業を広く募集し、区自治協議会が選定して実施します。
西区	地域課題解決に向けた提案募集 (1,000千円)	「きれいに住みやすいまちを目指し、環境美化に取り組む」「区の魅力発信・賑わい創出」の2つの地域課題の解決に繋がる提案を地域活動団体等から募集し、協働して実施します。
	支え合いの大切さを広める標語等活用 (500千円)	支え合いの大切さを広めるため、昨年度募集した標語等を活用し広く周知を進めることで、普段から支え合える地域を目指します。
	地域の担い手育成 (300千円)	グループワーク等により、地域の担い手不足解消等につながるアイデアを出し合い、その内容をもとに地域の担い手育成へ向けた取り組みを行います。
	西区アートフェスティバル (1,700千円)	「音楽・芸能」などに取り組んでいる区内団体等の発表の場として「西区アートフェスティバル」を開催します。学術・文化豊かな西区の魅力を発信し、地域の宝を共有します。
西蒲区	住みよい・豊かな・活力あるまちづくりプロジェクト (1,000千円)	総務部会が所管する分野（防犯・防災、公共交通、教育、文化、スポーツなど）の調査研究等を行い、地域課題の解決に向けた取り組みを進め、「豊かな自然、歴史と文化のかおりに満ちあふれ、人と人があたたかくつながるまち」を目指します。
	あたたかな人の和でつながる輪 (1,000千円)	保健福祉部会が所管する分野（保健、福祉、生活環境など）の調査研究等を行い、地域課題の解決に向けた取り組みを進め、「人の和でつながる安心・安全なあたたかいまち」を目指します。
	西蒲区お宝発信 (1,000千円)	まちづくり・産業部会が所管する分野（まちづくり、農業、商工業、観光など）の調査研究等を行い、地域課題の解決に向けた取り組みを進め、「魅力あふれる農水産物を配給するまち」及び「観光とレクリエーションのまち」を目指します。

6 新規開設施設一覧

※カッコ内の年月は開設予定年月となります

【令和3年度開設予定施設】

○ 児童福祉施設

- ・（仮称）新和ここの実保育園（中央区新和 R3年4月）

○ 高齢者福祉施設

<広域型特別養護老人ホーム>

- ・（仮称）柳都の杜（中央区四ツ屋町 R3年11月）

<認知症高齢者グループホーム>

- ・（仮称）はあとふるあたごグループホーム豊（東区豊 R3年5月）
- ・（仮称）船戸山1丁目グループホーム（江南区船戸山 R3年4月）
- ・（仮称）まいらいふ月湯（南区西萱場 R3年5月）
- ・（仮称）グループホームなかのくち弐号館（西蒲区福島 R3年4月）

<（看護）小規模多機能型居宅介護事業所>

- ・（仮称）はあとふるあたご小規模多機能ホームあきは（秋葉区車場 R3年11月）
- ・（仮称）看護小規模多機能ホーム第二白根能登の里（南区能登 R3年10月）
- ・（仮称）守庵良寛看護小規模多機能型居宅介護内野あゆみ（西区内野西 R3年10月）
- ・（仮称）小規模多機能型居宅介護きゃすと（東区海老ヶ瀬新町 R3年4月）
- ・（仮称）はあとふるあたご小規模多機能ホーム豊（東区豊 R3年5月）

<介護医療院>

- ・（仮称）聖園病院（西区青山）

○ 文化・教育施設

- ・（仮称）新潟市文書館（北区太田 R3年12月）
- ・ 潟東小学校新校舎（西蒲区三方 R3年4月）

【令和4年度開設予定施設】

○ 児童福祉施設

- ・（仮称）アルル保育園（江南区曾野木）
- ・（仮称）開志中野山こども園（東区中野山）
- ・ 子育て支援センター新津育ちの森（秋葉区程島 移転）

○ 地域活動拠点施設

- ・ 葛塚コミュニティセンター（北区葛塚）
- ・（仮称）曾野木地区コミュニティセンター（江南区曾野木）

○ 高齢者福祉施設

<介護老人保健施設>

- ・（仮称）葵の園・新潟島見（北区島見町 R4年4月）

資 料 編

1 令和3年度会計別予算

(単位：千円)

	令和3年度	令和2年度		比較			
	予算額 A	当初予算額 B	現計予算額 C	A - B	A - C	A/B 増減率	A/C 増減率
a 一般会計	386,600,000	391,000,000	491,593,612	▲ 4,400,000	▲ 104,993,612	▲1.1%	▲21.4%
b 特別会計	247,687,551	245,554,036	246,633,499	2,133,515	1,054,052	0.9%	0.4%
国民健康保険事業会計	72,823,268	75,131,706	75,580,411	▲ 2,308,438	▲ 2,757,143	▲3.1%	▲3.6%
中央卸売市場事業会計	1,251,536	1,485,061	1,508,322	▲ 233,525	▲ 256,786	▲15.7%	▲17.0%
と畜場事業会計	241,923	255,739	255,739	▲ 13,816	▲ 13,816	▲5.4%	▲5.4%
土地取得事業会計	200,000	-	-	200,000	200,000	皆増	皆増
母子父子寡婦福祉資金 貸付事業会計	366,746	372,263	372,263	▲ 5,517	▲ 5,517	▲1.5%	▲1.5%
介護保険事業会計	84,164,300	83,543,712	84,118,831	620,588	45,469	0.7%	0.1%
公債管理事業会計	79,071,430	75,300,278	75,300,278	3,771,152	3,771,152	5.0%	5.0%
後期高齢者 医療事業会計	9,568,348	9,465,277	9,497,655	103,071	70,693	1.1%	0.7%
a+b 小計	634,287,551	636,554,036	738,227,111	▲ 2,266,485	▲ 103,939,560	▲0.4%	▲14.1%
c 企業会計	123,926,742	124,651,030	125,186,296	▲ 724,288	▲ 1,259,554	▲0.6%	▲1.0%
下水道事業会計	66,575,098	67,990,611	67,986,743	▲ 1,415,513	▲ 1,411,645	▲2.1%	▲2.1%
水道事業会計	28,066,923	28,052,388	27,967,636	14,535	99,287	0.1%	0.4%
病院事業会計	29,284,721	28,608,031	29,231,917	676,690	52,804	2.4%	0.2%
合計	758,214,293	761,205,066	863,413,407	▲ 2,990,773	▲ 105,199,114	▲0.4%	▲12.2%

※ 現計予算額 C は 12 月補正後の数値

※ 端数処理のため、各項目の足し上げが合計数値に一致しないことがあります。

2 令和3年度一般会計歳入・歳出予算内訳

(1) 歳入

(単位：千円)

	令和3年度		令和2年度				比較			
	予算額 A	構成比	当初予算額 B	構成比	現計予算額 C	構成比	A - B	A - C	A/B 増減率	A/C 増減率
1 市 税	127,882,103	33.1%	134,924,193	34.5%	133,493,673	27.2%	▲ 7,042,090	▲ 5,611,570	▲5.2%	▲4.2%
2 地方譲与税	3,247,116	0.8%	3,362,728	0.9%	3,362,728	0.7%	▲ 115,612	▲ 115,612	▲3.4%	▲3.4%
3 利子割交付金	64,264	0.0%	82,635	0.0%	82,635	0.0%	▲ 18,371	▲ 18,371	▲22.2%	▲22.2%
4 配当割交付金	371,071	0.1%	505,525	0.1%	505,525	0.1%	▲ 134,454	▲ 134,454	▲26.6%	▲26.6%
5 株式等譲渡所得割交付金	318,079	0.1%	380,189	0.1%	380,189	0.1%	▲ 62,110	▲ 62,110	▲16.3%	▲16.3%
6 分離課税所得割交付金	116,107	0.0%	125,333	0.0%	125,333	0.0%	▲ 9,226	▲ 9,226	▲7.4%	▲7.4%
7 法人事業税	1,072,629	0.3%	1,130,022	0.3%	1,130,022	0.2%	▲ 57,393	▲ 57,393	▲5.1%	▲5.1%
8 地方消費税	18,501,632	4.8%	19,343,178	4.9%	19,343,178	3.9%	▲ 841,546	▲ 841,546	▲4.4%	▲4.4%
9 ゴルフ場利用税	17,534	0.0%	17,986	0.0%	17,986	0.0%	▲ 452	▲ 452	▲2.5%	▲2.5%
10 環境性能割金	234,400	0.1%	110,704	0.0%	110,704	0.0%	123,696	123,696	111.7%	111.7%
11 軽油引取税	5,197,927	1.3%	5,386,453	1.4%	5,386,453	1.1%	▲ 188,526	▲ 188,526	▲3.5%	▲3.5%
12 国有提供施設等助成交付金	8,839	0.0%	9,821	0.0%	9,821	0.0%	▲ 982	▲ 982	▲10.0%	▲10.0%
13 地方特例交付金	1,890,000	0.5%	1,022,000	0.3%	1,022,000	0.2%	868,000	868,000	84.9%	84.9%
14 地方交付税	60,844,000	15.7%	57,932,557	14.8%	59,117,097	12.0%	2,911,443	1,726,903	5.0%	2.9%
普通交付税	57,244,000		54,332,557		55,517,097		2,911,443	1,726,903	5.4%	3.1%
特別交付税	3,600,000		3,600,000		3,600,000		-	-	0.0%	0.0%
臨時財政対策債	29,027,000	7.5%	21,632,000	5.5%	22,243,400	4.5%	7,395,000	6,783,600	34.2%	30.5%
普通交付税十臨時財政対策債	(86,271,000)		(75,964,557)		(77,760,497)		(10,306,443)	(8,510,503)	(13.6%)	(10.9%)
15 交通安全対策特別交付金	227,637	0.1%	222,444	0.1%	222,444	0.0%	5,193	5,193	2.3%	2.3%
16 石油貯蔵施設等交付金	60,000	0.0%	60,000	0.0%	60,000	0.0%	-	-	0.0%	0.0%
17 分担金及び	775,947	0.2%	859,766	0.2%	859,766	0.2%	▲ 83,819	▲ 83,819	▲9.7%	▲9.7%
18 使用料及び	7,969,417	2.1%	8,094,464	2.1%	8,094,464	1.6%	▲ 125,047	▲ 125,047	▲1.5%	▲1.5%
19 国庫支出金	68,065,571	17.6%	67,471,455	17.3%	160,196,843	32.6%	594,116	▲ 92,131,272	0.9%	▲57.5%
20 県支出金	20,144,522	5.2%	20,240,710	5.2%	20,870,951	4.2%	▲ 96,188	▲ 726,429	▲0.5%	▲3.5%
21 財産収入	818,686	0.2%	1,184,564	0.3%	1,184,564	0.2%	▲ 365,878	▲ 365,878	▲30.9%	▲30.9%
22 寄附金	494,000	0.1%	420,000	0.1%	561,000	0.1%	74,000	▲ 67,000	17.6%	▲11.9%
23 繰入金	89,864	0.0%	38,657	0.0%	1,071,726	0.2%	51,207	▲ 981,862	132.5%	▲91.6%
24 繰越金	1	0.0%	1	0.0%	1,408,695	0.3%	-	▲ 1,408,694	0.0%	▲100.0%
25 諸収入	21,503,254	5.6%	22,062,115	5.6%	22,050,115	4.5%	▲ 558,861	▲ 546,861	▲2.5%	▲2.5%
26 市債 (臨時財政対策債は除く)	17,658,400	4.6%	24,380,500	6.2%	28,682,300	5.8%	▲ 6,722,100	▲ 11,023,900	▲27.6%	▲38.4%
(臨時財政対策債を含む)	(46,685,400)		(46,012,500)		(50,925,700)		(672,900)	▲ (4,240,300)	(1.5%)	(▲8.3%)
歳入合計	386,600,000	100.0%	391,000,000	100.0%	491,593,612	100.0%	▲ 4,400,000	▲ 104,993,612	▲1.1%	▲21.4%

※ 現計予算額 C は 12 月補正後の数値

※ 端数処理のため、各項目の足し上げが合計数値に一致しないことがあります。

(2) 歳出（性質別内訳）

（単位：千円）

	令和3年度		令和2年度				比較			
	予算額 A	構成比	当初予算額 B	構成比	現計予算額 C	構成比	A - B	A - C	A/B 増減率	A/C 増減率
1 人件費	94,155,217	24.4%	92,739,838	23.7%	93,813,164	19.1%	1,415,379	342,053	1.5%	0.4%
2 物件費	45,175,074	11.7%	45,803,211	11.7%	50,148,936	10.2%	▲ 628,137	▲ 4,973,862	▲1.4%	▲9.9%
3 維持補修費	6,561,445	1.7%	7,002,976	1.8%	8,171,404	1.7%	▲ 441,531	▲ 1,609,959	▲6.3%	▲19.7%
（前倒しを含めた規模）	7,079,345						76,369	▲ 1,092,059	1.1%	▲13.4%
4 扶助費	80,776,950	20.9%	79,777,982	20.4%	82,353,457	16.8%	998,968	▲ 1,576,507	1.3%	▲1.9%
5 補助費等	37,905,232	9.8%	37,286,481	9.5%	121,259,020	24.7%	618,751	▲ 83,353,788	1.7%	▲68.7%
6 公債費	48,965,430	12.7%	45,565,278	11.7%	45,565,278	9.3%	3,400,152	3,400,152	7.5%	7.5%
7 出資金貸付金	18,820,192	4.9%	19,141,574	4.9%	19,141,574	3.9%	▲ 321,382	▲ 321,382	▲1.7%	▲1.7%
8 繰出金	22,148,859	5.7%	21,540,614	5.5%	21,700,025	4.4%	608,245	448,834	2.8%	2.1%
9 積立金	105,871	0.0%	384,340	0.1%	565,340	0.1%	▲ 278,469	▲ 459,469	▲72.5%	▲81.3%
10 予備費	100,000	0.0%	100,000	0.0%	400,000	0.1%	-	▲ 300,000	0.0%	▲75.0%
小計	354,714,270	91.8%	349,342,294	89.3%	443,118,198	90.1%	5,371,976	▲ 88,403,928	1.5%	▲20.0%
11 建設事業費	31,885,730	8.2%	41,657,706	10.7%	48,475,414	9.9%	▲ 9,771,976	▲ 16,589,684	▲23.5%	▲34.2%
（前倒しを含めた規模）	44,369,455						2,711,749	▲ 4,105,959	6.5%	▲8.5%
補助	22,214,021	5.7%	26,212,042	6.7%	29,451,534	6.0%	▲ 3,998,021	▲ 7,237,513	▲15.3%	▲24.6%
単独	9,671,709	2.5%	15,445,664	4.0%	19,023,880	3.9%	▲ 5,773,955	▲ 9,352,171	▲37.4%	▲49.2%
歳出合計	386,600,000	100.0%	391,000,000	100.0%	491,593,612	100.0%	▲ 4,400,000	▲ 104,993,612	▲1.1%	▲21.4%
（前倒しを含めた規模）	400,618,048						9,618,048	▲ 90,975,564	2.5%	▲18.5%

※ 現計予算額 C は 12 月補正後の数値

※ 端数処理のため、各項目の足し上げが合計数値に一致しないことがあります。

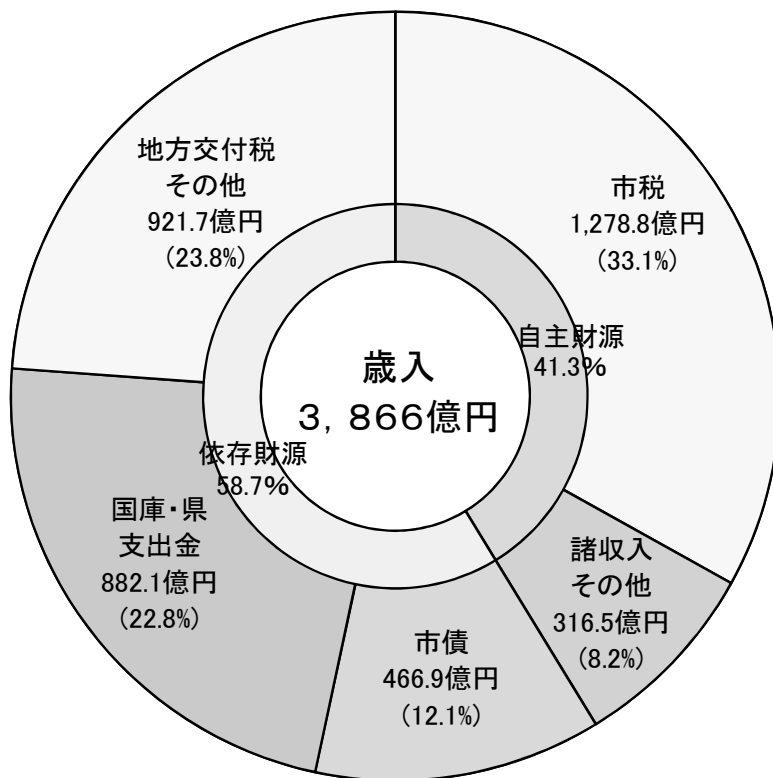
(3) 歳出（款別内訳）

（単位：千円）

	令和3年度		令和2年度				比較			
	予算額 A	構成比	当初予算額 B	構成比	現計予算額 C	構成比	A - B	A - C	A/B 増減率	A/C 増減率
1 議会費	995,132	0.3%	1,029,084	0.3%	987,916	0.2%	▲ 33,952	7,216	▲3.3%	0.7%
2 総務費	40,387,106	10.4%	41,616,326	10.6%	123,460,235	25.1%	▲ 1,229,220	▲ 83,073,129	▲3.0%	▲67.3%
3 民生費	121,410,649	31.4%	121,253,391	31.0%	126,196,896	25.7%	157,258	▲ 4,786,247	0.1%	▲3.8%
4 衛生費	26,501,582	6.9%	25,987,621	6.6%	27,386,934	5.6%	513,961	▲ 885,352	2.0%	▲3.2%
5 労働費	1,548,440	0.4%	1,267,259	0.3%	1,669,642	0.3%	281,181	▲ 121,202	22.2%	▲7.3%
6 農林水産費	6,036,726	1.6%	6,323,645	1.6%	6,577,511	1.3%	▲ 286,919	▲ 540,785	▲4.5%	▲8.2%
7 商工費	13,170,913	3.4%	14,568,702	3.7%	17,261,926	3.5%	▲ 1,397,789	▲ 4,091,013	▲9.6%	▲23.7%
8 土木費	52,115,438	13.5%	55,588,497	14.2%	62,311,276	12.7%	▲ 3,473,059	▲ 10,195,838	▲6.2%	▲16.4%
9 消防費	9,938,616	2.6%	10,401,336	2.7%	10,560,758	2.1%	▲ 462,720	▲ 622,142	▲4.4%	▲5.9%
10 教育費	57,607,436	14.9%	59,452,239	15.2%	61,368,618	12.5%	▲ 1,844,803	▲ 3,761,182	▲3.1%	▲6.1%
11 公債費	48,894,430	12.6%	45,475,278	11.6%	45,475,278	9.3%	3,419,152	3,419,152	7.5%	7.5%
12 諸支出金	7,893,532	2.0%	7,936,622	2.0%	7,936,622	1.6%	▲ 43,090	▲ 43,090	▲0.5%	▲0.5%
13 予備費	100,000	0.0%	100,000	0.0%	400,000	0.1%	-	▲ 300,000	0.0%	▲75.0%
歳出合計	386,600,000	100.0%	391,000,000	100.0%	491,593,612	100.0%	▲ 4,400,000	▲ 104,993,612	▲1.1%	▲21.4%

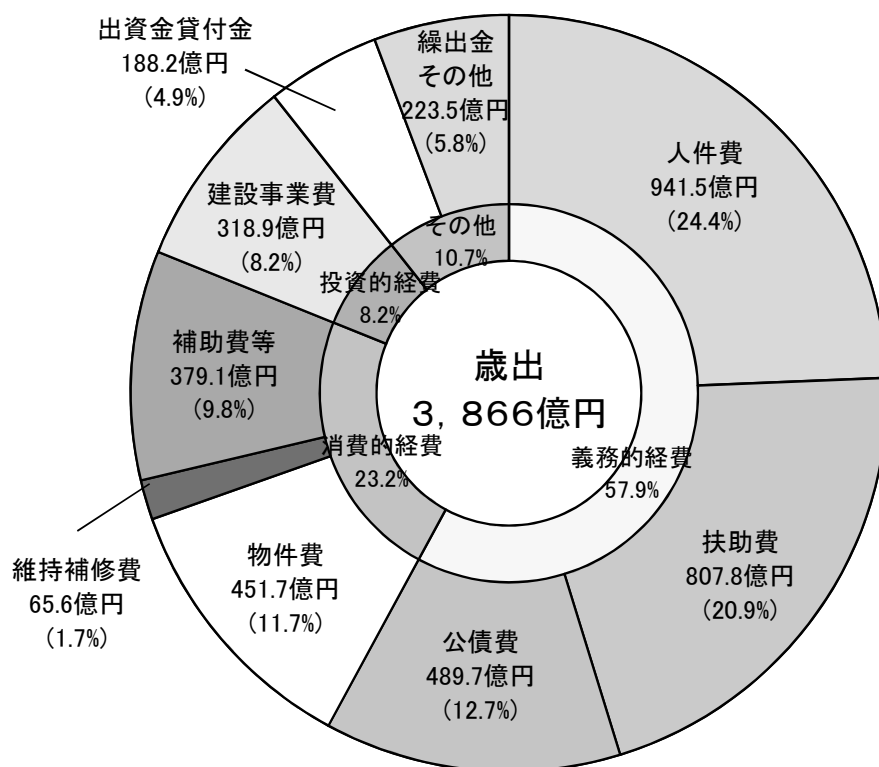
※ 現計予算額 C は 12 月補正後の数値

※ 端数処理のため、各項目の足し上げが合計数値に一致しないことがあります。



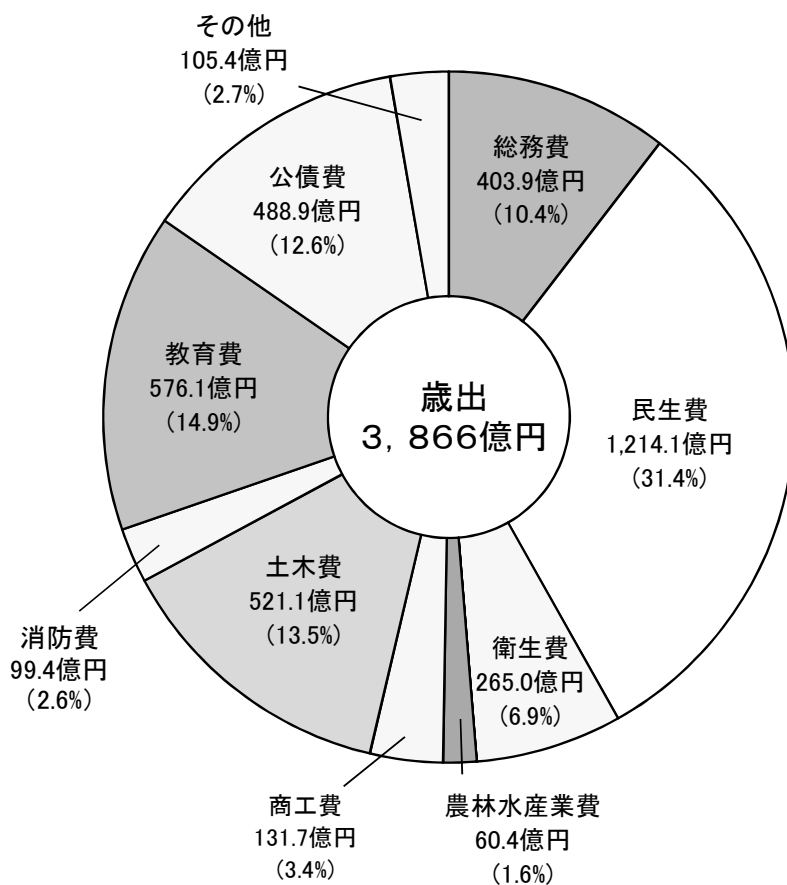
歳出(性質別)

3,866億円



歳出(目的別)

3,866億円



(注)端数処理のため、各項目の足し上げが合計数値に一致しないことがあります。

3 目的税および地方消費税交付金の使途

(1) 目的税

【入湯税】

(単位：千円)

区 分	事業費	財 源 内 訳				
		特 定 財 源			一 般 財 源	
		国県支出金	起 債	その他	入湯税	その他
観 光 振 興	100,858	70,000			16,917	13,941
計	100,858	70,000			16,917	13,941

【事業所税】

(単位：千円)

区 分	事業費	財 源 内 訳				
		特 定 財 源			一 般 財 源	
		国県支出金	起 債	その他	事業所税	その他
交 通 施 設 整 備	26,052,715	9,430,739	14,465,500	453,670	1,609,491	93,315
公 園 緑 地 整 備	2,130,109	272,460	416,000	143,071	1,225,979	72,599
上 下 水 道 及 び 廃棄物処理施設整備	14,515,871	3,732,154	10,129,100	7,140	555,717	91,760
教育文化施設整備	342,871	18,350	16,400		292,239	15,882
医療及び社会福祉施設整備	1,592,774	929,794	216,000	2,180	421,873	22,927
防 災 関 連 事 業	475,645	2,650	63,600	73,000	319,056	17,339
市 街 地 開 発 事 業						0
市場、と畜場又は火葬場整備	16,000		16,000			
住 宅 施 設 整 備						
計	45,125,985	14,386,147	25,322,600	679,061	4,424,355	313,822

※事業所税（4,657,216千円）の5%は事業所税徴収に要する費用に充当

【都市計画税】

(単位：千円)

区 分	事業費	財 源 内 訳				
		特 定 財 源			一 般 財 源	
		国県支出金	起 債	その他	都市計画税	その他
都 市 計 画 事 業	24,491,187	9,007,804	15,240,700	2,498	73,378	166,807
街 路	9,711,539	5,272,804	4,417,100	2,498	5,846	13,291
公 園	249,750	55,000	175,200		5,973	13,577
下 水 道	14,529,898	3,680,000	10,648,400		61,559	139,939
市街地開発事業						0
土 地 区 画 整 理 事 業	85,600		54,300		9,562	21,738
地 方 債 償 還 額	25,687,641				7,847,741	17,839,900
計	50,264,428	9,007,804	15,295,000	2,498	7,930,681	18,028,445

(2) 地方消費税交付金

令和3年度予算における市町村交付金（社会保障財源化分）が充てられる社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費

- (歳入)
- ・市町村交付金（社会保障財源化分） 100.9億円
- (歳出)
- ・社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費 100.9億円

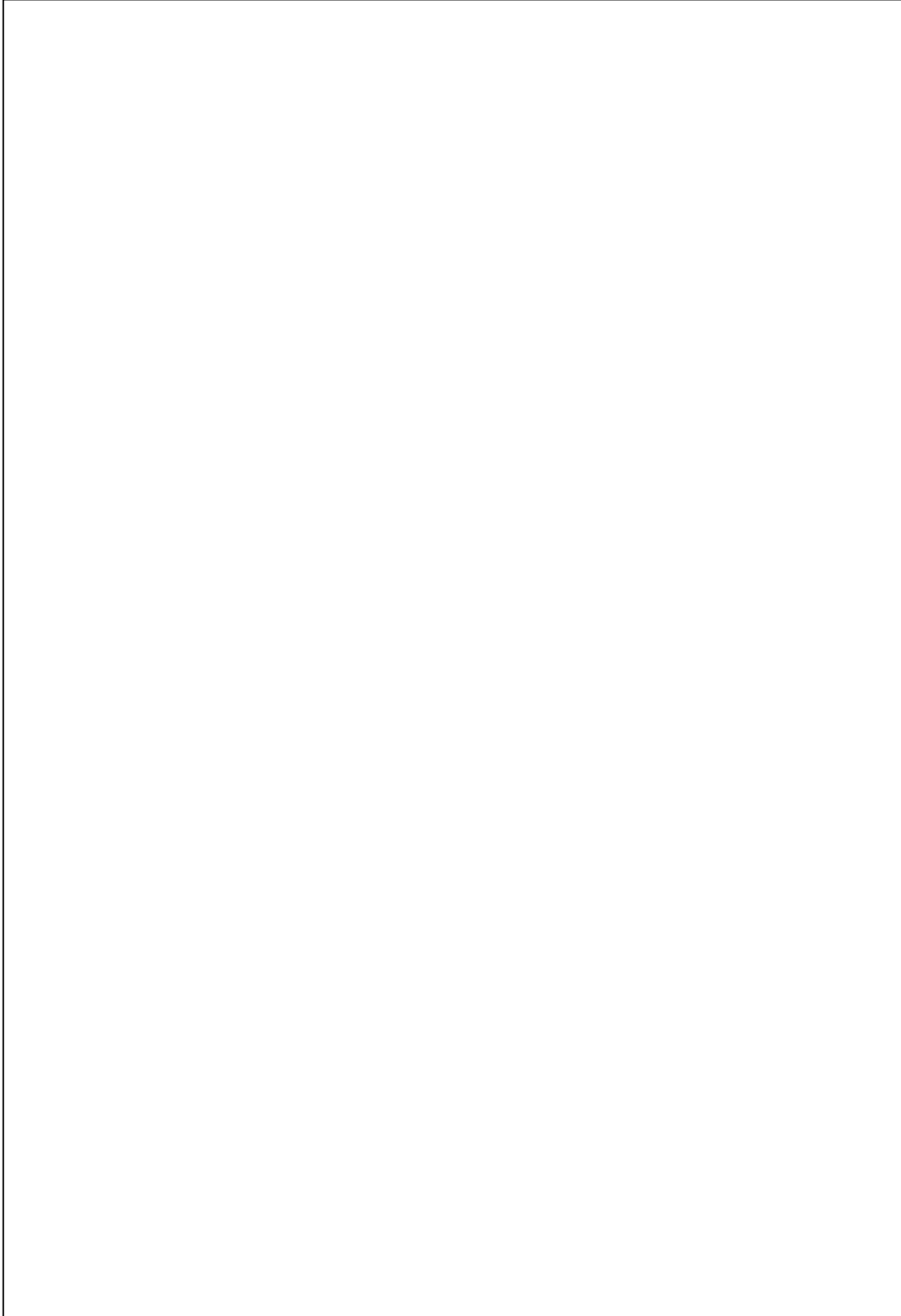
【一般会計 社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費】 (単位：千円)

区 分	事業費	財 源 内 訳					
		特 定 財 源			一 般 財 源		
		国県支出金	起 債	そ の 他	社会保障財源化分の市町村交付金	そ の 他	
社会福祉	社会福祉事業	1,309,481	309,793		32,612	1,619	965,457
	母子福祉事業	2,546,512	799,397		18,346	287,378	1,441,391
	児童福祉事業	43,836,715	26,254,435	193,700	2,122,946	2,724,484	12,541,150
	障がい福祉事業	22,476,541	13,922,484		306,297	1,225,265	7,022,495
	生活保護事業	17,459,866	13,092,327			845,718	3,521,821
	高齢者福祉事業	11,934,263	1,908,813	17,600	102,577	1,492,753	8,412,520
	小 計	99,563,378	56,287,249	211,300	2,582,778	6,577,217	33,904,834
社会保険	介護保険事業	12,969,907	849,758			2,309,747	9,810,402
	国民健康保険事業	6,523,505	2,792,350			374,258	3,356,897
	小 計	19,493,412	3,642,108			2,684,005	13,167,299
保健衛生	保健衛生事業	6,001,843	1,046,046	9,400	52,072	211,855	4,682,470
	保健所事業	16,843	45		50		16,748
	保健予防事業	6,949,008	368,664		61,507	618,722	5,900,115
	小 計	12,967,694	1,414,755	9,400	113,629	830,577	10,599,333
合 計	132,024,484	61,344,112	220,700	2,696,407	10,091,799	57,671,466	

※精査の結果、数値を変更することがあります。

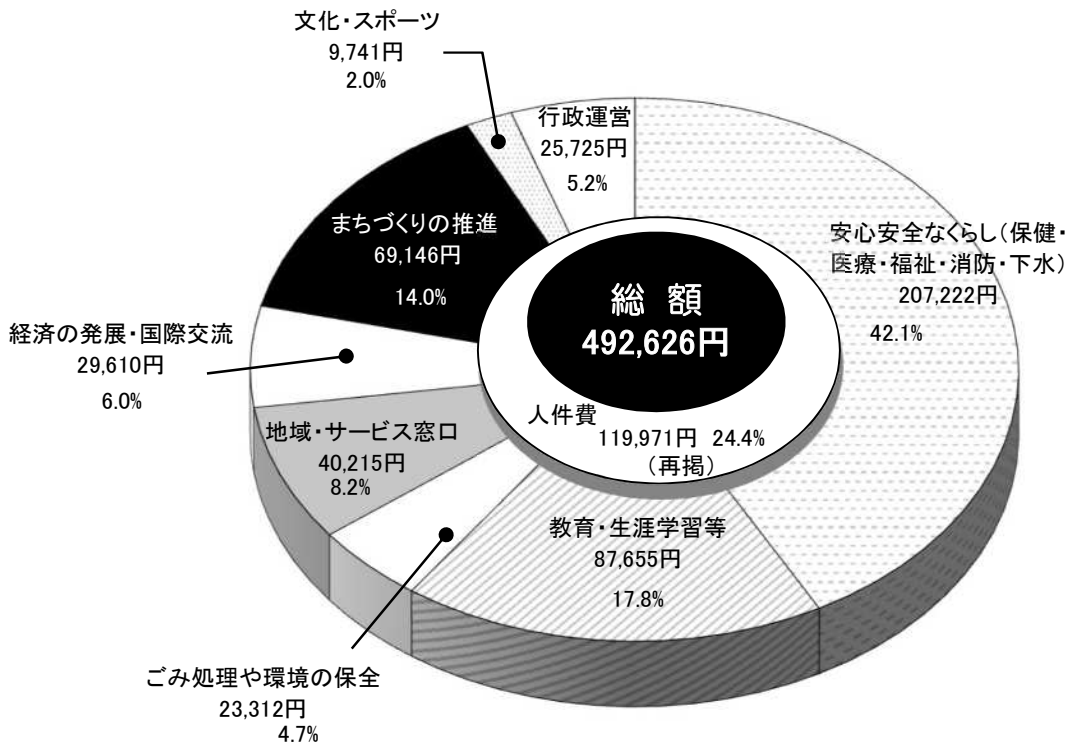
- 主な事業
- ・ 保育園，認定こども園等における子ども・子育て支援
 - ・ ひまわりクラブにおける支援
 - ・ 障がい福祉サービス事業
 - ・ 高齢者を地域で支えるまちづくりの推進（地域包括ケアシステムの深化・推進）
 - ・ 健康寿命の延伸に向けた取り組み
 - ・ 予防接種費

memo

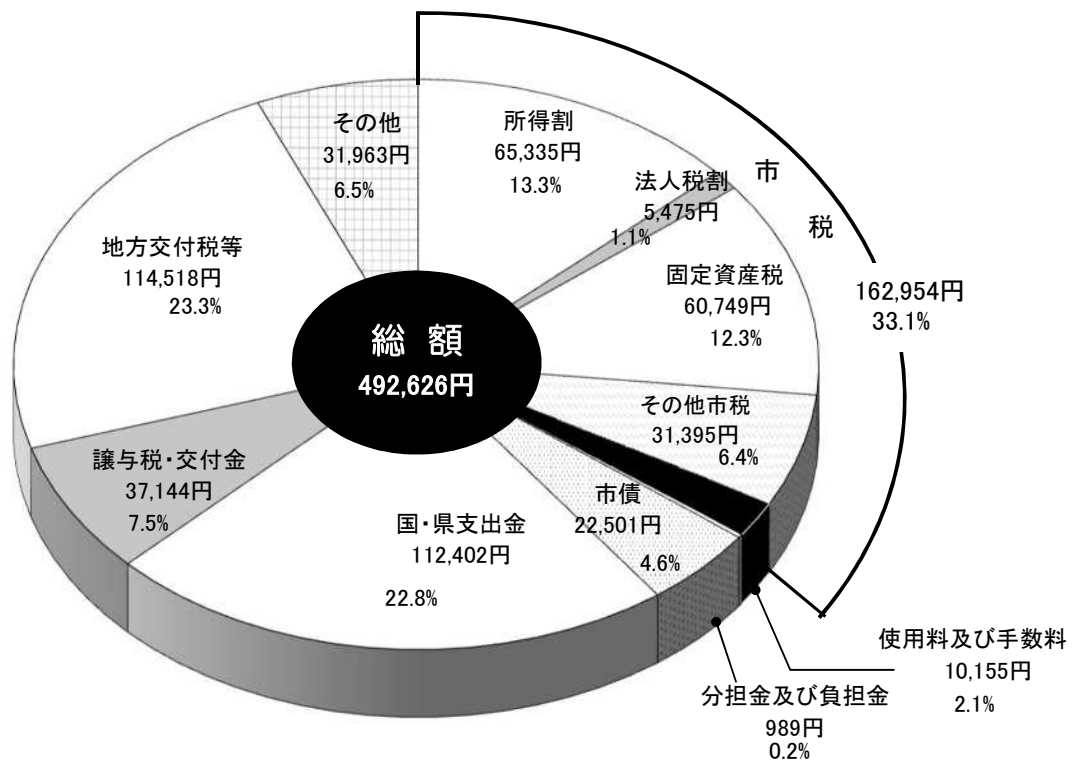
A large, empty rectangular box with a thin black border, intended for writing the content of a memo. It occupies most of the page below the header.

4 市民一人当たりの予算の内訳など

(1) 市民一人当たりのサービスコスト



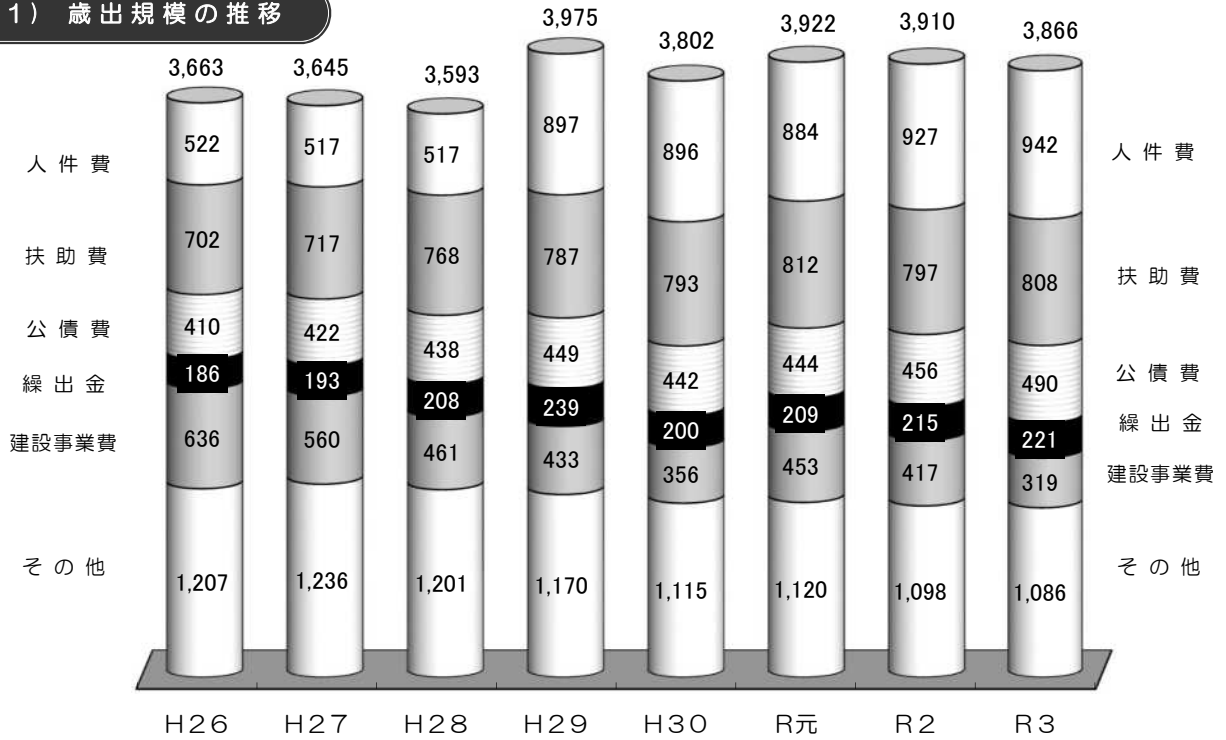
(2) サービスに充てる収入内訳



5 歳出の詳細について

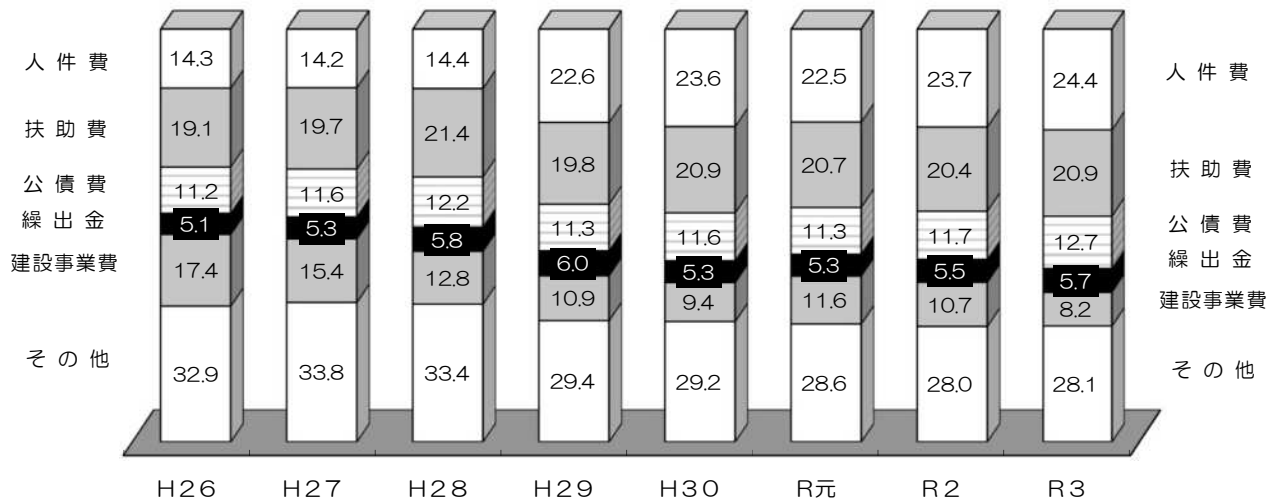
単位：億円

(1) 歳出規模の推移



(2) 歳出構成比の推移

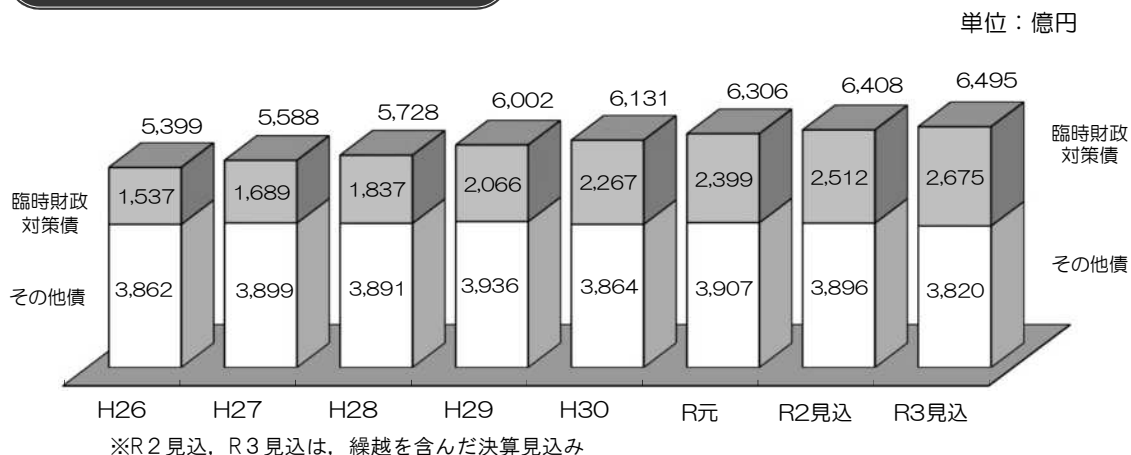
単位：%



人件費の割合は、平成29年度から義務教職員に係る給与負担等が移譲されたことに伴い増加し、その影響で他の主な割合は減少しました。また、扶助費は少子・超高齢社会への対応や医療給付費などの増加により、伸びていくものと予想されます。

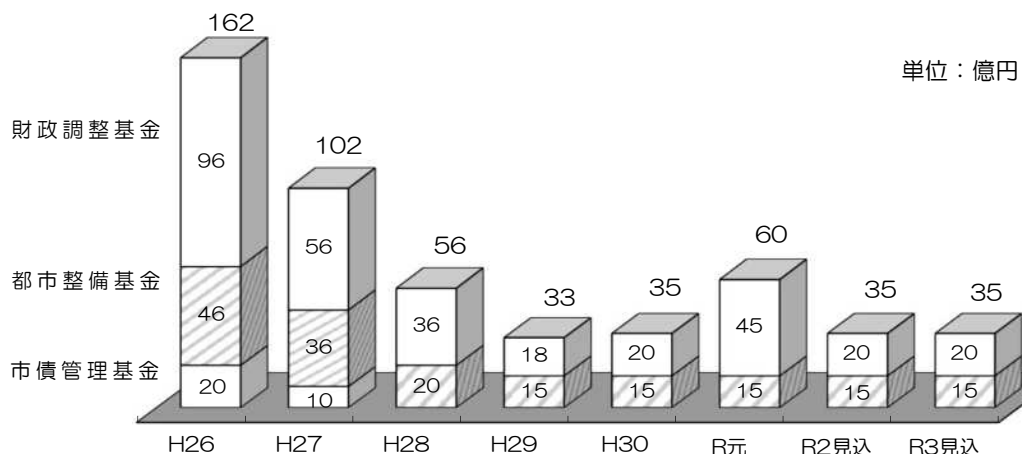
今後も、真に取り組むべき重要課題へ限られた経営資源を的確に投資していくため、集中改革プランに基づき、社会情勢の変化や市民ニーズに即した事務事業の最適化を図ってまいります。

(3) 市債残高（一般会計）の推移



市債残高については、普通交付税の振り替わりである臨時財政対策債の増加などから、令和3年度末では、6,495億円の市債残高が見込まれています。
 今後も公債費負担には配慮し、真に必要な事業の選択と集中を図り、後世に過大な負担を強いることのないよう、健全な財政運営に努めます。

(4) 基金現在高の推移



本市の財政状況は、市税収入が伸び悩む中、社会保障関係費や公債費のほか、施設の維持補修費の増加などにより、基金の取り崩しによる財政運営が続いてきましたが、平成30年度当初予算編成からは、基金の取り崩しを行わず、収支均衡を図っています。

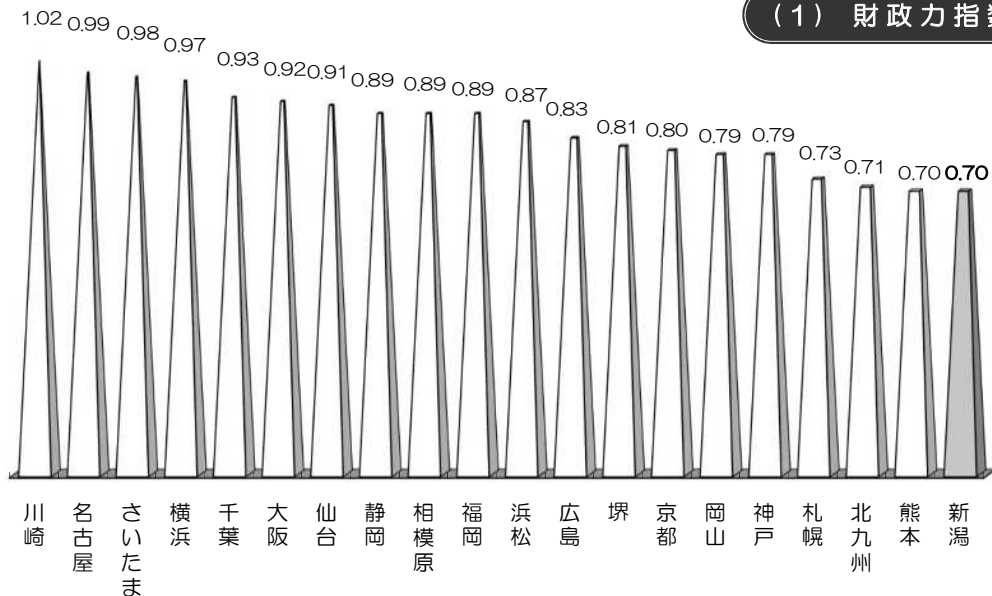
令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策や除排雪経費に財政調整基金を活用したため、基金現在高は減少する見込みです。

引き続き、建設事業の厳正な事業選択や、より一層の事務事業見直しによる歳出抑制を徹底するとともに、さらなる歳入確保に努め、基金に頼らず収支均衡を図る「持続可能な財政運営」を行っていきます。

6 他都市との財政状況の比較（令和元年度普通会計決算）

本市の財政状況を、他の政令市の決算と比較してみました。
 指標により大きいほうが良好であったり、逆に小さい数値のほうがより健全であると判定されるものがありますが、以下の比較は左側に位置する団体ほど相対的に良好な財政状況であると言える並びになっています。

(1) 財政力指数

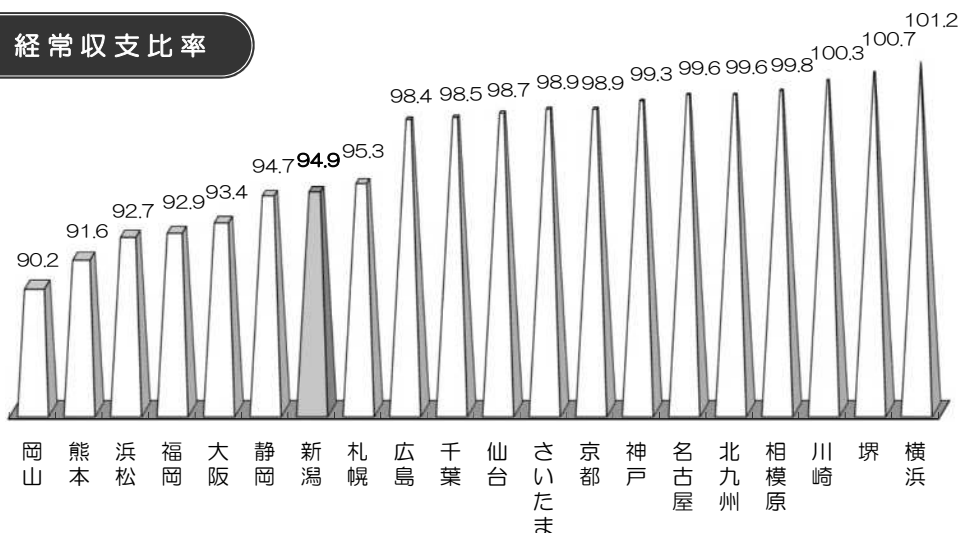


◆ 財政力指数

地方公共団体の財政力を表す指標で、その団体が標準的に収入する市税などの歳入を分子に、その団体が標準的水準で行政を行った場合に要する経費を分母に計算するもので、指数が高いほど財源に余裕があるといえます。

本市の場合、他の政令市に比べ低い水準にあることから、拠点性を高める取り組みの強化を始め、企業誘致や雇用の確保、交流人口の拡大などによる地域経済の活性化に積極的に取り組むことにより、安定した税源の涵養に努めます。

(2) 経常収支比率

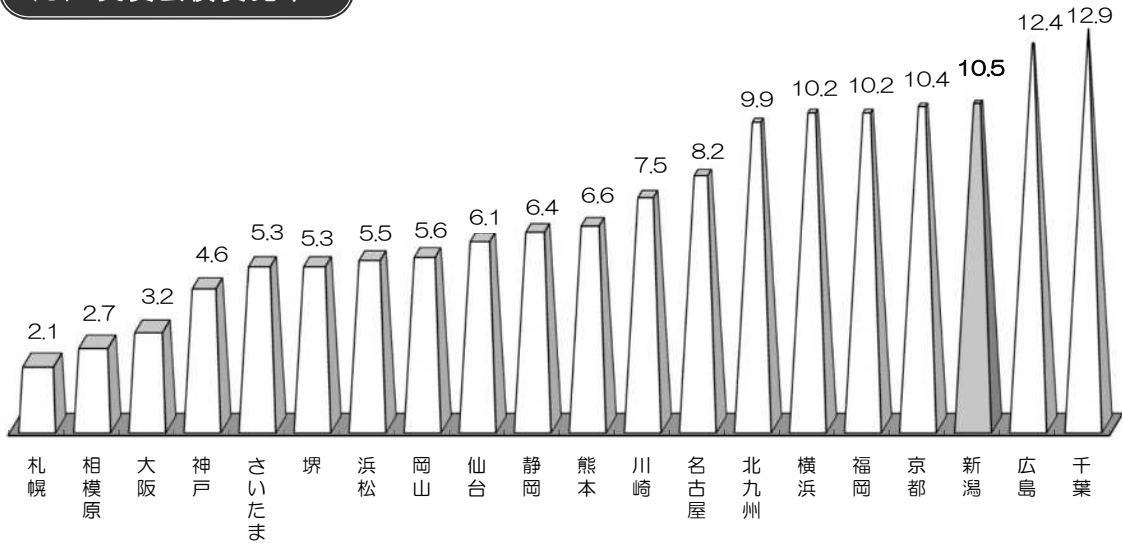


◆ 経常収支比率

財政構造の弾力性を表す指標で、市税などの経常的に歳入される一般財源に対し、人件費、扶助費、公債費などの義務的な経費が、どれだけ占めているか比率で示されています。

本市は他の政令市に比べ良好な位置にあり、より柔軟性があると言えますが、この比率が低いほど臨時的な財政需要に対し柔軟に対応できることから、必要な施策に取り組みながら、経常収支比率の更なる低減に努めていきます。

(3) 実質公債費比率

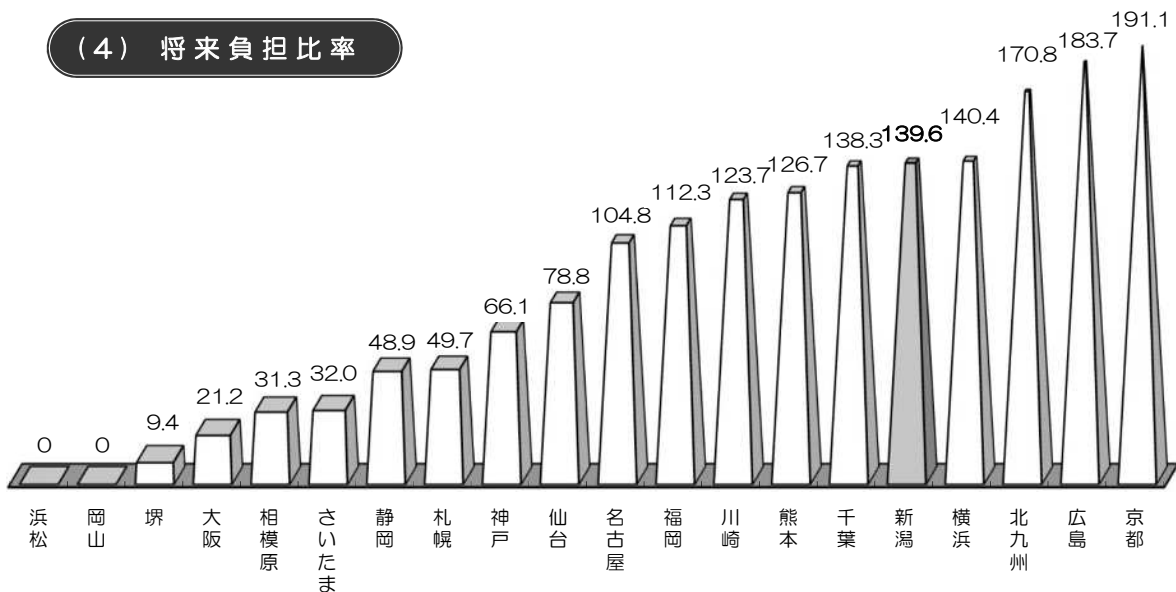


◆ 実質公債費比率

地方公共団体における、公債費による財政負担の度合いを判断する指標で、この数値が「18.0」以上になると総務省の許可なしでは市債の発行ができなくなります。

本市は、他の政令市と比べ下位に位置しています。市債を発行する場合、償還の際に交付税で措置されるいわゆる有利な地方債の発行に心がけるなど、今後とも、その低減に努めていきます。

(4) 将来負担比率

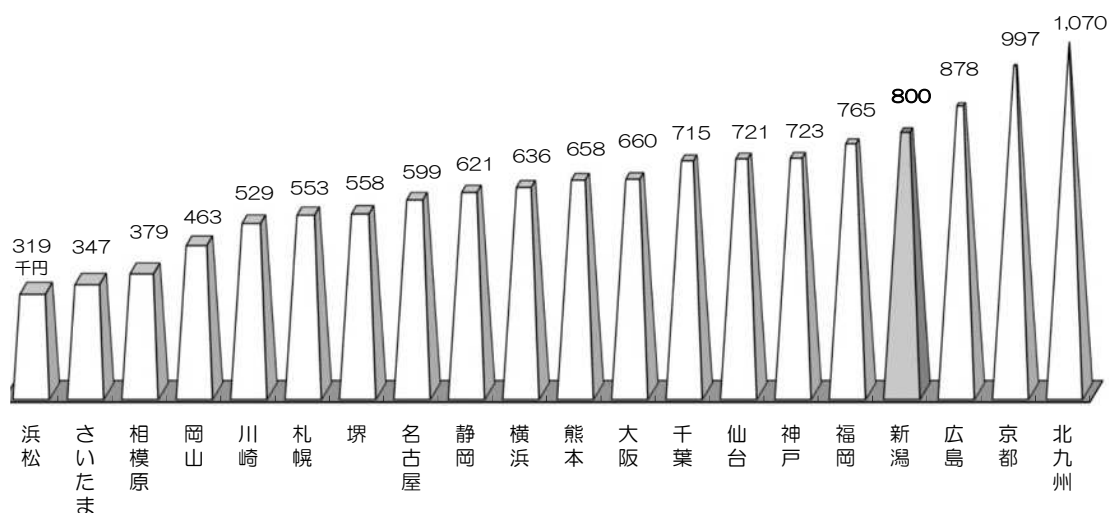


◆ 将来負担比率

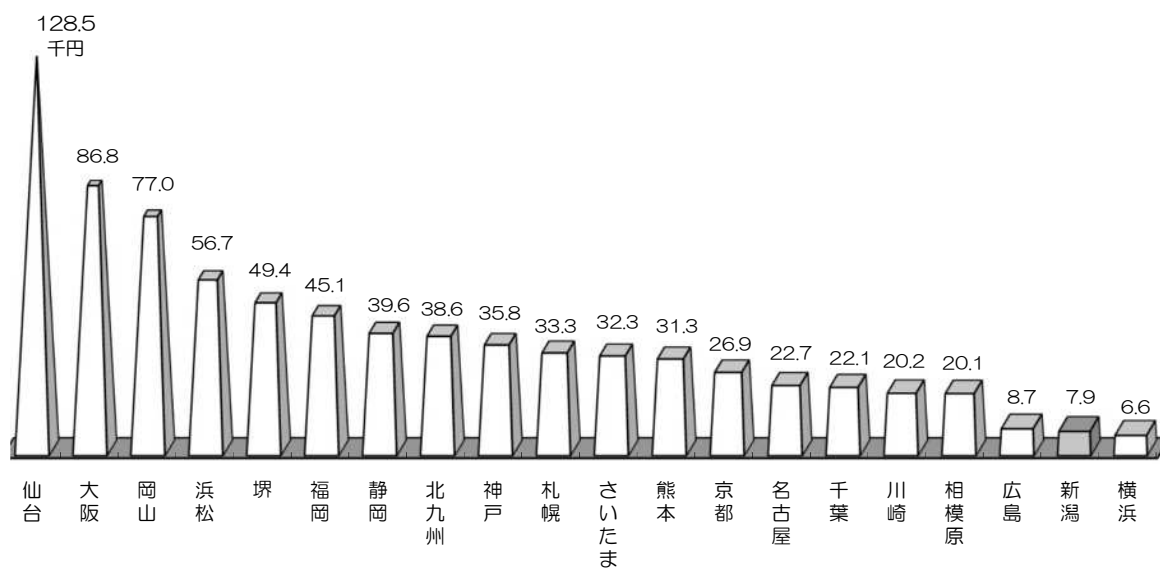
地方公共団体における、地方債残高等による将来の財政を圧迫する可能性の度合いを示す指標で、数値が「400」以上になると財政健全化計画の策定等が必要になります。

本市は、他の政令市と比べ下位に位置しています。数値が高いほど、将来世代に対する負担が大きくなることから、市債残高の縮減に努めています。

(5) 地方債現在高（一人当たり）



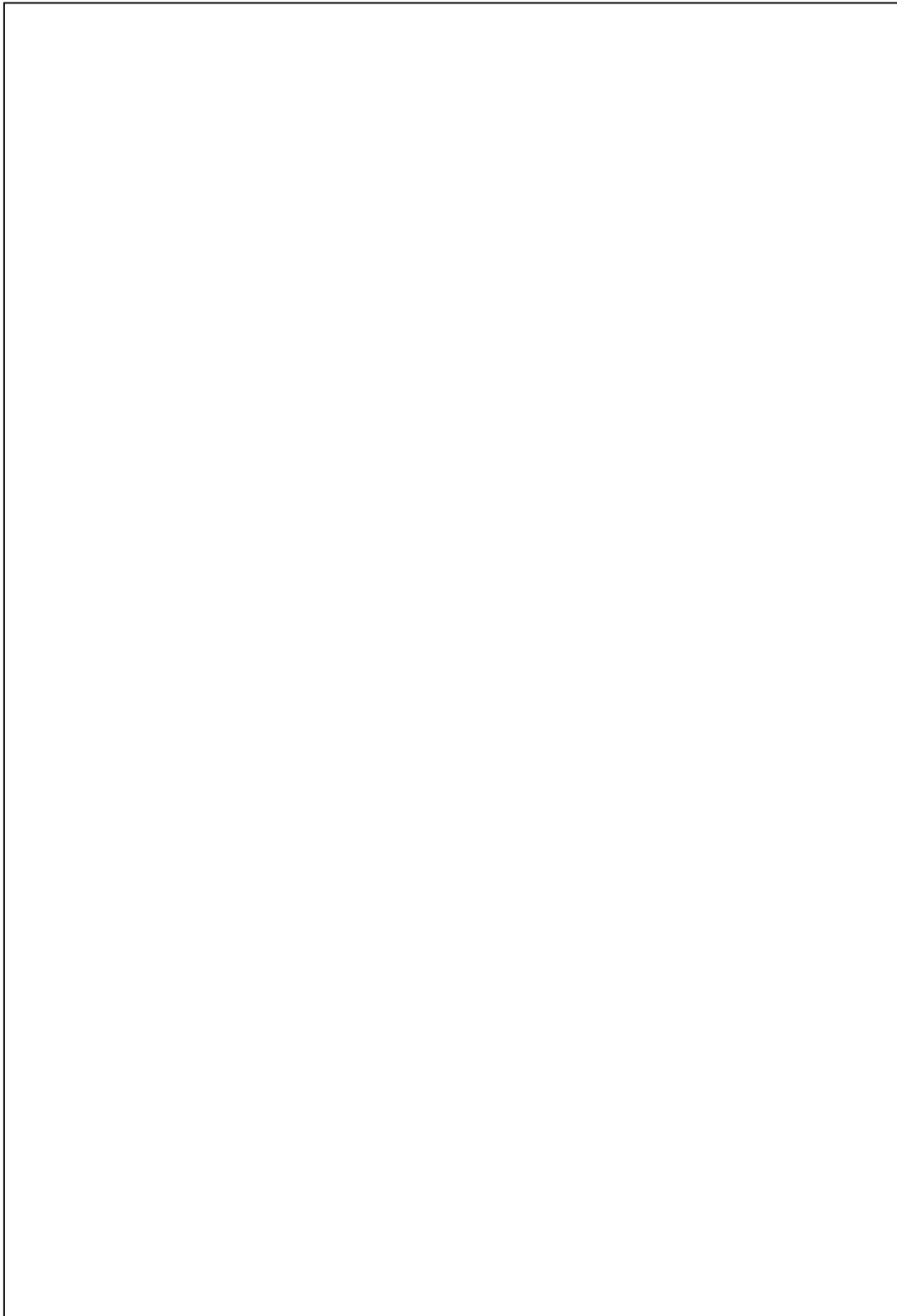
(6) 積立金現在高（一人当たり）



一人当たりで見た場合、地方債現在高は、他の政令市と比べ高位に、積立金現在高は下位に位置しています。

地方債残高の増加や積立金の減少は、将来世代への負担に繋がることから、今後は、更なる改革を推し進め、基金に頼らず収支均衡を図り、持続可能な財政運営を行っていきます。

memo

A large, empty rectangular box with a thin black border, intended for writing a memo. The box is positioned below the 'memo' header and occupies most of the page's vertical space.